(明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) 大正五年六月二十五日 THE KEIJO NIPPO 第三千百五十九號(一)

京城日報

廿四日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢(郵税共) 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割増
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲三號活字は五號活字の二行 ▲六號活字は五號活字の一行
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話(編輯用三四五番 營業用二二六番) 振替貯金口座京城三六〇〇番

◎經濟會議決議の效力

經濟會議決議に就て=當局の談

聯合國經濟會議の決議に就き當局は語て曰同會議に出席せる各政府代表者は其國より全權を委任されて臨みたる者に非ず又其決議は國際條約の如く關係國に於て拘束を受く可き性質のものに非ず只聯合國政府の考慮に供するものに過ぎざれば決議事項の實行に關しては充分講究の後なるべしと(東京特電不通延著)

◎經濟會議報告

經濟調査會臨時總會開會

廿三日午後二時半より首相官邸に於て經濟調査會臨時總會を開き大隈會長を始め武富河野兩副會長以下委員出席佛國政府の主唱に依り巴里に開かれたる聯合國經濟會議に關し阪谷男より其筋に達せる同會議の經過及び決議文に就き中山主事より詳細報告する處あり武富副會長尙該報告を敷衍して說明を爲せり(東京特電不通延著)

◎全部服從不利

巴里經濟會議決議事項中の一部は聯合國共通の利害に關するを以て之を實行すべきも決議事項全部に服從するは日本の不利なりとの說盛んなり(東京電報)

◎希臘內閣組織成る

雅典來電に曰く希臘內閣組織成りザイミス氏は首相兼外相に決定せり、公式宣誓は二十三日行はるべしと(倫敦電報)

◎希臘對各國使臣通告

協商國側の要求全部承諾

ザイミス氏は希臘駐剳の聯合國各公使を訪問し希臘は軍隊の動員を取消す事好意的中立を守るべき內閣を組織すべき事獨逸贔屓の警察官を解散すべき事等總て協商國側の要求全部を承諾すべき旨通告したり(倫敦電報)

◎獨軍の慘憺たる敗北

巴里來電に曰くヒンデンブルグ軍はモスルゴンの南方に於て慘憺たる敗北を爲せりと報せらる(倫敦電報)

◎露軍ラ市を占領す

露軍はツエルノウイツチ南方三十哩なるラダウツを占領せり、同市は人口一萬三千を有す(倫敦電報)

◎亞拉比亞人の叛亂

亞拉比亞人は土耳古に對し叛亂を起して成功しメッカは叛徒の占領するところとなれりとの報當地に達したり(紐育電報)

◎支那米資借款運動

支那政府は四國財團の鹽税剰餘金引渡遲延の結果米國資本家に依賴し借款を起さんと奔走中なりと(東京電報)

◎カ將軍の對米質問

カランザ將軍は華盛頓に送れる墨國代表者をして米國政府に向ひカーリジヤルに於ける衝突に關し何故に米兵の大部隊が根據地を離れて前進したるやに就き質問せしめつゝあり(紐育電報)

◎米墨國境兩軍停戰說

米墨國境に於ける交戰は妥協成立し停戰せりとの報あり(東京電報)

◎寺內總督元帥

二十四日左の如く元帥の親授ありたり

陸軍大將從二位勳一等功一級伯爵 寺內正毅

元帥府に列せられ特に元帥の稱號を賜ふ(東京特電)――(號外再錄)――

元帥の稱號を賜はりたる寺內大將

◎神尾中將陞進

廿四日神尾中將に對し陸軍大將の御親任ありたり(東京特電)

陸軍中將從二位勳一等功一級 神尾光臣
任陸軍大將

◎海軍々務局長

廿二日海軍々務局長任官左の如く發表ありたり(東京特電)

海軍將官會議員兼海軍省軍務局長海軍少將 鈴木貫太郎
免兼海軍省軍務局長
英國大使館附武官 海軍少將 小栗孝三郎
補海軍省軍務局長兼海軍將官會議員

◎廣東軍續々降伏

李烈鈞部下の雲南軍廣東省に入り韶州其他の各地に於て交戰の結果廣東軍續々降伏しつゝあり(東京電報)

◎露藏劵と日銀

露國藏劵は日本銀行の見返品となす事となれり(東京電報)

◎滿銀案の可決

經濟調査會金融部會特別委員會に於ては滿洲銀行案を可決せり(東京電報)

◎臺灣總督

安東臺灣總督は二十四日彥島亞鉛工場を視察し午後發の備後丸にて歸任の途に就く(門司特電)

◎祭粢料御下賜

故朴子爵に對し

天皇陛下には故子爵朴齊純氏存命中の功績に對し金二千五百圓を祭粢料として御下賜の御沙汰ありたり

▲總督府より賻與金 總督府にては故朴子爵經學院大提學在任中の勞に報ゆる爲め金千五百圓を賻與せりと

◎ルーム總督

佛領印度支那總督エー、ルーム氏一行は廿八日朝入京の豫定なりしが廿八日夜九時入京と變更せられたりと因に出發は豫定の通り廿九日午前八時廿分發の鮮滿直通列車なり

◎秋季演習決定

十月一日より十日間

既報第十九師團秋季演習は大同江附近に於ける平壤七十七、龍山七十八の兩聯隊對抗及び北鮮地方に於ける羅南七十三、咸興七十四の兩聯隊對抗の二箇所に於て擧行する旨既報の如くなるが立花師團長統裁官なり期日は十月一日より十日迄に決定せりと

◎白井旅團長檢閱

大邱第四十旅團長陸軍少將白井二郎氏は來る廿六日より來月十二日迄左記日程により部下各部隊第二期檢閱及び巡視を爲す可しと

(日程)▲廿六日大邱發同日大田着▲廿七八兩日大田滯在第二第三第四中隊檢閱▲廿九日大田發同日淸州着▲七月一日二日淸州滯在第五第六第七中隊檢閱▲三日淸州發同日龍山着▲四日龍山司令部と師團打合▲五日龍山發同日忠州着▲六日七日忠州滯在第十第十一第十二中隊檢閱▲八日忠州發同日水原着▲九日水原滯在守備隊巡視▲十日水原發同日利川着守備隊巡視▲十一日利川發水原著一泊▲十二日水原發大邱へ歸任

◎地鎭祭次第

景福宮內に於ける朝鮮總督府廳舍新築敷地地鎭祭は既記の如く二十五日午前九時より谷村京城神社宮司祭主の下に執行さるゝことゝなれり當日式の次第左の如し

一、午前九時 (第一鼓)諸員著席
二、修祓 (第二鼓)
三、降神の式
　警蹕 皆揖奏樂 諸員起立敬禮
四、神饌を献ず 此間奏樂
五、齋主祝詞を奏す 諸員起立
六、鎭物埋納の式
　總督 建築敷地東南隅
　政務總監 同 西南隅
　總務局長 同 東北隅
　土木局長 同 西北隅
七、玉串奉奠
　齋主 總督 政務總監 總務局長 土木局長 參列員順次
八、神饌を撤す 此間奏樂
九、昇神の式
　警蹕 皆揖奏樂
十、諸員退下 (第三鼓)

◎總督總監臨席

寺內總督、山縣政務總監は二十四日午前九時四十分總督府出門、總督府醫院內醫學專門學校講堂に於て開會せる朝鮮醫學會第六回總會に臨場せり

◎元帥府條例抄

元帥府に列せらるゝ陸海軍大將には特に元帥の稱號を賜ふ▲元帥府は軍事上に於て最高顧問とす▲元帥は勅を奉し陸海軍の檢閱を行ふことある可し▲元帥には副官として佐尉官各一人を附屬せしむ

◎朝鮮醫學總會

朝鮮醫學會第六回總會第一日は二十四日午前十時より總督府醫院內醫學專門學校講堂に開催、芳賀會長の挨拶に次ぎ寺內總督の祝詞、趙重應子の祝辭ありて一同記念の撮影を爲し少憩後稻田幹事會務を報告して直ちに議事に移り又た片山、田中諸氏の講話あり正午食堂を開き午後一時より會員の講演に移りて四時散會したり

◎會計主任會同

時州分遣憲兵隊司令部高等集會所に於て右一同に對し茶菓の饗應をなせり

各道及び税關會計主任會同最終日は二十四日午前九時より總督府第二會議室に開會、關係部局課長等出席し兒玉總務局長の訓示ありて午前十一時閉會之れにて今回の會同を終了せり

◎判事更迭

二十四日附を以て左の通り辭令ありたり

平壤地方法院判事 藤本永吉
補平壤地方法院判事 藤本永吉
平壤地方法院判事 青山暢性
補平壤覆審法院判事 永島雄藏
京城覆審法院判事 深田留治
豫審掛を命ず
補京城覆審法院判事 深田留治
成興地方法院判事 深田留治
補成興地方法院判事
豫審掛を命ず
光州地方法院木浦支廳判事 新井胖
補光州地方法院木浦支廳判事 新井胖
豫審掛を命ず

◎衛生技術員會議終了

警務總監部に於て六月二十日より開催中なりし各道衞生試驗所技術員會議第四日は二十四日午前十一時總監部樓上に開催古海總長以下各課係長臨席技術員全部出席し總長より一場の訓示ありて會議は之を以て終了し正午十二時散會せり因みに古海警務總長は廿四日午後零時...

□袁前總統出棺期

袁の出棺期は二十八日に決定し同日午前十時新華門より中華門を出で汽車にて河南の彰德に赴くべく葬儀は新舊折衷式に依り一切の費用は五十萬圓の限度なりと(北京)

◎勸業模範場長

勸業模範場長本田博士は二十六日水原出發上京約一箇月滯在の上橫濱出帆米國に向ふべく博士留守中は鈴木技師場長代理たるべしと

◎府訓令公布

地方法院出張所の名稱位置並に取扱區域中改正の件は二十六日附府令を以て、又た法院判檢事の定員中改正の件は同日附訓令を以て何れも二十六日の官報に公布のことゝなれり

◎高陽郡水害實況

京畿道にては高陽郡漢江沿岸地方の水害狀況に就き實地の調査を爲さしめたるが同地方水田千四五百町步の被害は比較的少きも畑二千町步に植付ありし麥作の成熟期にありたるため多大の被害を蒙り目下の所約半作位の收穫なるべしと

◎簡易商業學校へ補助金

日出學校內に附設したる公立簡易商業專修學校は今回國庫より年額三百圓の補助を下附さるゝことゝなり二十四日其筋より指令ありたり

安東縣

▲陳列館へ補助 大典記念事業として昨秋建設されたる安東商品陳列館に對し今回農商務省より大正五年度維持費補助として金三百圓を交付されたるが關東都督府及び當地泰昌公司よりも同じく各金五百圓宛を寄附せり▲警備區域協定 過日鐵道妨害事件發生すると同時に巡警の暴行事件を惹起せるに依り廿日午後一時より安東警務署に於て日支官憲會合の上自今沙河鎭附近の鐵道線路一帶は日本側に於て警備に任じ支那側の警備區域は支那市街に限る事と協定せり▲阿部謙氏京城行 哈爾賓支店開設準備の爲出張中なりし元鮮銀當地出張所長阿部謙氏は二十一日夜行列車にて京城本店に赴きたるが再び當地へ引返す筈▲松原所長著任 新任鮮銀當地出張所長松原純一氏は二十一日前任地長春より著任同日諸官公衙其他を歷訪して新任挨拶を爲せり

平壤

▲平壤と南浦水道 平壤に於ける昨今一日の水道の水使用量は一日平均一五五〇〇立方呎(石數二三二五〇石)鎭南浦二九五〇〇立方呎(石數四四二五〇石)にして平壤に於ける水道水使用割は戸數に比し內地人は九割三分鮮人は戸數に比し五割強鎭南浦は內地人六割三分朝鮮人は一割強なりと▲平壤監獄近況 平壤監獄在監人總數は現在千五十九人にして本監七百九十五人上需里出張所二百六十四人內刑事被告人百八人受刑者九百五十四人勞役場留置二人攜帶乳兒二人作業人員八百九十二人病者十三人事故休役百五十四人なり今在監人を國籍別にすれば內地人男六十九名同女一名計七十名鮮人男八百五十一名女七十七名計九百廿八名支那人男六十一人なり

元山

▲玉木少佐出發 陸軍運輸部釜山支部長玉木少佐は北鮮地方視察の爲め二十一日海路來著元山の視察をなし同夕出帆の第三琴平丸にて北方に向へり▲永谷警務課長 警務總監部永谷警務課長は豫て北鮮各地視察中の所二十日夕來著し元山市內及び葛麻檢疫所の視察を遂げ二十一日午後四時發列車にて出發したるが途中釋王寺にて一泊の上歸任すべし▲武富大尉著任 釜山運輸部支部勤務中なりし武富輜重兵大尉は今回元山出張所長を命せられ二十一日朝入港の第三琴平丸にて著任せり因に陸軍運輸部元山支部は出張所と改められたり▲鳥合大尉出發 永興灣要塞司令部工兵大尉鳥合末次氏は鎭海要港部視察の爲め二十一日夜の安平丸に便乘出發したり▲新商議會員 過回認可せられし元山新商業會議所會員は內地人七十九名鮮人三十八名合計二百十七名なりと

春川

▲揚口燒の現狀 春川邑を距る約十二里揚口郡揚口邑の西北約三里方山面長坪里は舊韓時代より陶磁器の產地なるが江原道に於ては在來の製造方法を改良し道物產の一として普く社會に紹介すべく大正三年改良竈を築き陶磁器製造所を設置し專門の技師を雇入れ製品は道物產陳列場に於て販賣し專ら改良に努めつゝありしが今回經費の都合上昨今中止の狀態なるが今專門家の說によれば該地の原料は凡を二里餘の山脈に續き耐火粘質に富み至つて有望なりとの事なり而して部民の大半は陶磁器業を營み製品は各地より入込む商人へ直接賣却し每年萬餘の產額に達し比較的金融圓滑なる所なるが現在戸數約五十人口二百餘憲兵出張所及び山林監守宿舍等ありて交通は華川街道を採るを便なりとす▲陶磁器製造視察 京城工業專門學校助教授貞包多三氏及び中央試驗所技手海福紀一氏は楊口郡長坪里陶磁器製造場視察の爲め十九日京春自動車にて來春萩野旅館へ一泊の上二十日現場へ向け出發せり▲人事往來 土木局技師本間孝義氏は水利組合事業新築水路檢査の爲め二十一日京春自動車にて來春萩野旅館へ投宿奈良春川慈惠醫院長は慈惠醫院長會議列席の爲め十日間の豫定を以て二十二日京春自動車にて上京

清州

▲殖產會社の果樹 面積の擴大なると林檎、梨、葡萄の品質優良なる點に於て全鮮隨一の稱ある淸州郡五松里なる弘益殖產株式會社農場に於ける本年の狀況を聞くに病樹は高島主任が病害驅除に苦心努力の效を奏し一本の病樹を見ず又開花中襲來せる颶風の爲め被害少なからざりしも著果步合は昨年の四倍強にして先づ中作なりとて收穫見込は林檎梨を合して極上物百二十五萬顆三萬函を下らざる可く殊に本年物は出來榮え頗る優良なる由にて早生林檎は二十日頃より市場に販出すべしと因に同社は本年より大連浦鹽哈爾賓方面に販路を擴張すべく近く社員を派遣する由

大田

▲長官儒城行 小原忠南道長官は嚴父見送りの爲來田の處二十三日鳥致院經由にて歸公の筈なりしも先日來の降雨にて錦江二十二尺の增水の爲め行通不能なるより再び來田直に腕車にて夫人、小松事務官等と儒城溫泉に一泊歸公の筈▲大田稻況 稻の插秧は七分通り終りたるが尙今月一杯より來月上旬位まで掛る場所あるべし概して苗の生育良好なりしが本年は插秧期に入りて雨多き爲め反つて苦しむ樣なり先般の出水は插秧期の初めなりし爲め格別被害なかりしも今回は插秧後の事とて或は土砂を冠り被害ある見込なり▲小麥 は未だ刈入れ終らざれば降雨尙歇なき時は多少の被害は免れ難し而して小麥中江島は本郡に於て獎勵せられ一面に九反步四斗五升宛十一面に配布し道採種圃三町步は內地人の手に依り作られたるが何れも成績良好なり昨年一町二反步の江島收穫を總て相互交換蒔附けをなしたる由なれば其收穫數に於ては多き見込なり▲大豆 は在來種の中より最良種を選び一般に獎勵せられ居れるが本年も既に全部の蒔附けを終り所によりては四五寸に成長し頗る良好なりと

人事消息

▲有田實治郎氏(朝鮮銀行經理部長) 二十四日朝龍山發赴任釜山へ
▲長谷川八次郎氏(釜山辯護士) 入京中の處二十三日夜出發歸釜
▲入見次郎氏(農務課長) 二十四日朝南大門發東上
▲高田直三郎氏(釜山中學校長) 二十四日出府
▲橫井增治氏(土木局技師) 二十六日江原、慶北へ出張
▲藤井琢磨氏(水原慈惠醫院長) 十九日朝入京頃金旅館へ
▲久慈隆麿氏(咸興同院長) 廿一日夜入京同上
▲蜷川逝氏(濟州島同院長) 廿二日朝入京同上
▲吉野鶴三氏(江陵同院長) 同上
▲藤井春吉氏(安東同院長) 廿三日朝入京同上
▲木村末次郎氏(林課) 廿三日夜入京天眞樓へ
▲阿部元松氏▲兒玉好正氏(鈴木商店員) 同上
▲長崎登氏(前代議士) 二十四日朝入京同上
▲寫櫻蘭之丞氏(義州慈惠醫院醫官) 二十三日夜入京朝尾へ
▲田中長太郎氏(日淸生命支配人) 二十四日朝退京
▲ミンガード氏▲ブロード氏夫妻▲ペターソン夫人及令孃▲レスリー孃(以上米人)▲プリンゲル氏夫妻(英人) 二十四日朝入京朝鮮ホテルへ

□

無佛居士の賀辭に答ふ　白居城

時鳥捉へて見んと早起す

旅中雜吟

栗の花に衣を洗ふ乙女かな
麥を打つ乳房垂るゝ女
麥熟す烏帽子に釣を垂る見ゆ
豚小屋の前に牡丹の花咲けり
牛を放つ野に撫子の色はねて
絶壁に撫子はねて濶宵し
川止の宿に繭の相場聞く

白楊の並木……往十里……

◉歡樂郷の哈爾賓

酒氣粉々たる露人＝夜半から始まる裸體舞踏＝料理屋は大繁昌＝露國商人の商賈替＝朝鮮との商關係＝何んと云つても歡樂郷

新設ハルビン鮮銀支店長に任命され同行副司都阿部課長氏は此程久しく開店準備の爲め哈市に出張中だつたが此程歸鮮した、其頃の哈爾賓に付大要左の如く語る

三年目に私は東淸鐵道線に乘つたが著しい觸目個處を述べると邦人勢力の北進でした、一等も二等も其の乘客の半分は吾が大和民族であつた

◇長停短驛其處に 少なからぬ內地人を見ました

汽車に乘つたり下りたりする人を送り迎ふる日本人の團まりは心強く車窓から眺められ往年淋しく旅を續けた回顧をマザ／＼と思ひ泛べ其の異ひの甚だしい事を沁々考へさした哈爾賓には十日餘りゐた何しろ御承知の如く露西亞本國は目下禁酒令を布かれてゐる關係上露本國の人も淸國方面の露人も租借地たる哈爾賓に入り込んで渇する者が飲を求めるやうに盛んに酒を呷るらしい、例へば

◇軍隊を輸送する 々に哈爾賓には三時間も

四時間も汽車を停め、そして乘つてゐる軍人等は脫兎の如き勢ひで市中に飛出し各種の酒類を鯨飲すると云ふ、で市中に酒氣紛々たる露人を少なからず見かけました、例の猛烈たる現實暴露の活動寫眞は此頃戰時の關係上よりか止めてゐるらしいが夜半より始まつて曉に終る裸體舞踏は矢張り盛んだと聞いた

◇先づ本國は重視を 々罰せられたりしてゐるので

兎に角哈爾賓は目下の所露西亞の無邊際な歡樂境とも觀ねます一體に最近はハルピンの商況閑散時です、併し戰爭の爲め本國より荷物が來なかつたりするので日本品の入り込みは少なくない殊に軍需品は大口の取引がドシ／＼行はれ邦人のブローカーなども少なからず同地の宿屋に泊つてゐた、從つて多くもない日本の宿屋も皆な料理屋も大變な繁昌です

◇今の所日本人は 二千餘人の在留者を數へて

ゐるがドシ／＼殖ゐて行くのは愉快です、日今世上に傳へられてゐるやうに東淸線一部の日本讓渡が事實になると一層哈市の邦人は殖ゐ東淸沿線に於ける吾が勢力は擴まつて行くでせう、それから露國の商賈は如何かと云ふに大分變化があるやうだ、例へば露本國で出來てゐた

◇安價な露西亞毛布 などの如きは戰亂以來

其の産地を獨逸に占領されたから製品は來ず外の方に商賈替へをした｜と云ふやうな類は仲々多い、哈爾賓に於ける日本側の金融機關は正金の支店と七萬五千圓を資本とする松花銀行がある限りです、朝鮮との商關係は今の所間接なのは兎に角直接なものは少ない、僅に米と果物が入つて來る位のやうです

◉盛會なりし 百穗畫會

〔廿五日も引續き開會〕

平福百穗畫伯の作品展覽會は既報の如く二十四日午前九時から京城ホテルに於て開かれた畫題の多くが金剛山であるのと畫伯の畫風を慕ふ人々は開會前より押し掛けて頗る盛會となり殊に土曜日の事とて山縣政務總監、宇佐美長官、關屋局長、三本鐵道局理事、鈴木局長、古海總長、小宮次官、松永道長、渡邊高等法院長、兒玉局長、野田副總裁、村田理事抔

▽午後の來會者 が頗る多かつた嵐しい京城ホテルの大食堂と二つの應接間一杯に懸け廻はした諸大家の作品はあらゆる各流派の畫風を蒐めたる事とて觀覽者は興味盡きず何回も廻ぐり歩いて晚賞して居る向きも多かつた扇面の作品は殊に

▽一般の好評を博した百穗畫伯の作品は來觀者歎美の的にして殊に摩訶衍八潭、萬葉集仙峰等雄大幽邃の筆觸は人をして恍惚として其下を去り難からしむるもいであつた

▽參觀者の希望に由つて作品は抽籤法を廢して各自好む處に由り隨意に領つ事になつたので百穗畫伯の作十數點及び諸名家の名作及び扇面等も少からず賣約濟の札が付いて居つた廿五日も午前九時から午後五時まで其の儘陳列して一般の縦覽に供し希望者の需に應ずる

◉湖南地方出水

▲太田川堤防の崩壞 廿一日午後より降り出したる雨は廿二日拂曉より豪雨となり太田川及び大東川は共に增水し二十三日午後六時頃は大田川七尺五寸大東川五尺五寸となり木尺里より鉢岩里方面は一尺餘の濁水汎濫し兩側の人家は床下に浸水せり本町理立地小學校新築右側大田川岸は約六十間急流の爲め崩壞せり其他堤防の崩壞田畑の浸水多き模樣なるも尙ほ降雨歇まざれば今後如何に成行くや量り難し(田大)

▲二度目の大出水 二十一日夜半から降出したる雨は二十二日に至り勢ひ益々加はりしため二十三日は非常の出水にて木川方面より前回の出水に鑑み避難し來るもの內鮮人を合せ數百に上り裡里にては官民合同して二十三日夕刻より炊き出しを始め裡里座は避難民にて混雜を極め居れり

▲廿五日全部復舊せん 湖南線の水害は豪雨降り續きたる爲め漸次被害區域增大せられ羅州裡里間、群山支線に及び本區間の列車運轉不能となれり卽ち芙蓉裡里間は線路浸水三尺に達し長城林谷間に於ては三十五鎖間線路浸水、十四鎖線路流失し松汀里羅州間假線浸水したり此開通山支線五山川假開渠全部流失し群期は同地方目下降雨中なるも復舊工事に從事中なれば一部は廿四日復舊すべく廿五日には全部の開通を見るに至るべしと

▲江景地方の大出水 二十二日より大雨ありて江景地方は出水十四尺に及び浸水家屋甚だし(江景特電)

◉絕壁から墜落

桑の葉摘みに山へ行て

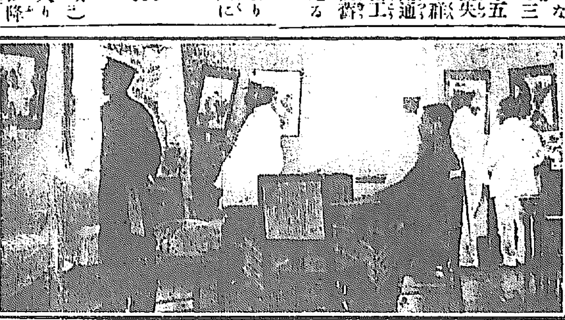
平安南道孟山郡々內面花里洞趙孟見(六三)は去る五日居洞後方の山に分け入り桑の葉を摘み居れる中俄かに雨が降り出したるより狼狽し急ぎ山を下りる際誤つて足を辷らし高さ百餘尺の斷崖より墜落し頭部を粉碎して卽死せり又同郡甑山面上洞朴應燦妻金氏(三一)は七日午前六時頃弟の妻曹姓女と共に同里保里亞谷にて桑摘み中金氏は九十餘尺の絕壁より墜落して卽死せり

◉鯨を捕獲す

江原道通川郡慈山里に漁場を有する淺井組大敷に廿二日朝一頭の克鯨かゝり居れるを發見し早速周圍を漁船にて取圍み漸くの事に捕獲し現場に於て解體の上當地水產市場に搬入せり

◉飛び下りて

二十三日午後五時半頃京城電氣會社九十八號電車が南大門外を進行中乘客たる江原道原州郡富興寺面金筏谷里元頭錄(六二)同道洪川郡南面詳洞里金成云(三十)の兩名が飛降りをなして打倒れ兩名共面部に打撲傷を負ひたり



京城ホテルの百穗畫會

◉姉妹で殺害

平南江西郡雙龍面多足里居朴寶坦(二)は昔林面鶴碎里己洪鵬來(三)の妻なるが昨年春頃龍岡郡池雲面大城里の洪渠と私通したる結果夫鵬來を殺害せんと決心し昨年三月七日夜情夫洪渠の實妹なる龍岡郡池雲面大城里洪氏(二)及其の實妹平壤水玉口里居洪錫鳳(一)を語らひ同夜熟睡中の鵬來を女三人掛りにて白金布を以て絞殺したる上縊死したるが如く裝ひ今日迄打ち過ぎ居れる事發覺し遂に前記三名は其筋の手に逮捕さる

◉三人組

慶北慶州郡江東面良洞金順萬(三)金顯萬(三七)同面有琴里李和徐(三九)の三名は共謀し昨年一月三十日夜同面任安藤方に侵入し洋傘にて强迫して金品を强奪し尙ほ外一箇所にては辻强盜をなしたる事發覺し此程何れも檢擧されたり

實話 母子の邂逅(四)

……お゛ッ母アが歸つて見れば今度は元瑞の行衞が知れなくなつて居た――

預けられてからの四年間も元瑞は決して伯母の家で可愛がられて居つたわけではない、ほんの仕方なしの厄介者扱ひにされて居つたのだ、伯母夫婦は四年間、世話をしたお禮欲しさに養つて居つたのだ

約束の四年は過ぎて終つたが元瑞の母は影も形も見せなかつた、伯父は斯んな事を伯母に云つた

『人を馬鹿にして居やがらあお前達は相談づくで此の餓鬼を遺つたり貰ふたり爲たんだらう、この貧乏世帶に他家の餓鬼まで背ひ込んだ日にや立つ瀬が有りやしねゑ。』

斯んな風であつたから伯母の家庭に於て元瑞がどんな待遇を受けて居たかは大抵想像がつく殊に愈々母が迎へに來なくなつたと極まつた後は一層元瑞はミヂメな日を送らなければならなかつた。

それに引かへて元瑞は一日でも懷しいお゛ッ母アの事を忘れる事は能きなかつた、伯父さん夫婦に冷遇されればされる程可愛がつてくれたお゛ッ母アの事が思ひ出されてならなかつた。

『どうしたらお゛ッ母アに逢へるだらう……』斯う云ふ考へは元瑞の身體と共に大きく成つて來た。

『尋ねたら逢へない事はない。』と云ふ強い考さへも起つた、

『どうかして逢ふて見たい、何處かでめぐり逢ふたら、思ひツ切り怨んだり、泣いたり、拗ねたりして俺に斯んな悲しい思ひをさせただけお゛ッ母アを困らしてやらう、さうしてあの意地惡るの伯父様が時々俺を毆やし付けた事をも云ひ付けてやらう。』

それから俺一生懸命に働いてお゛ッ母アを大切にするから、今度は俺を置いて何處にも隱くれて終はぬ樣にと云ふて置かう、さうして今度見付けたらお゛ッ母アが何處へ行く時でもあとに跟いて行かう。』

斯んな甘い、樂しい空想が引切りなしに元瑞の胸に湧き出でた

『お゛ッ母アに逢ひに行かう、何處かに屹度居るから……』

斯う云ふ決心に誘はれて遂々元瑞は伯父の家を出た、さうして後はあの山を越したらお゛ッ母アに逢へようあの村へ這入つたらお゛ッ母アが居るだらうと云ふ様な果敢ない事を的事にして迷ひ歩いたのは彼が十二の歲である

元瑞が家出をしてから二年後に元瑞の母は小金を貯へて元瑞を連れに歸つて來た。彼女が命にして居つた可愛い／＼元瑞は行衞知れずになつたと聞いて彼母は喪心するばかりに驚いた。

角力雜記帳

▽幕內人氣力士の相撲振り

夏場所に常勝將軍太刀山を屠つて東軍の殊勳一の偉功を樹てた栃木山は到る所栃木山栃木山と騷がれてゐる、栃木山は確かに一箇の怪力士である身體も左程大きいといふでもなく、上背も高いといふ程でもないのだが明治四十四年五月序の口に始めてその名を記されてから全勝又

▽全勝で トン／＼拍子に飛び上り力士となつて五場所には最う幕下に出世したが大正四年春には入幕したのは實に破天荒の出世である彼の體格は現在の身長五尺六寸五分、體量二十六貫、肩口も廣く筋肉も固く縮つてゐて手足なども中々大きい、伊勢の濱と同型の力士であるが彼れより倚大きくなるだらうと思はれる、その相撲振りも至極地味ではあるが堂々たるもので一遍に寄つて終ふか左を差せば一氣に

▽寄切る やうな勝味の早い力士で前角力を取つてゐた時分から小結に榮進した今日まで少しも生意氣が出ない、要するに堅實な力士である、兩國は今度の一行の中では綾川と共に芝居で見るやうな美男子であるがそれでゐて角力にかけては俊捷機敏然かも天性の怪力を有し豪快な角力を取るので人氣がある、角力振りは强引の櫓投げが得意で、小手投げ

▽足癖等 頗る變化が多い力士で大正三年五月に入幕すると同時に全勝した以來關脇まで進んだ進境の早い力士だ、九州山は福岡縣鞍手郡木屋瀬村の生れ中西十郎と言つて四十四年三月常陸山の門に入り幕下に附出され大正三年一月全勝して十兩に入り大正四年五月に入幕した大錦に次ぐ大兵である、相撲振りも害になつて

▽押して 出る所は大錦より強いが四ツ相撲には弱いやうでもある然かし何うしても三役力士だ宇都宮は大錦、栃木山、兩國、九州山などより遙かに先輩でもあり體格も太刀に似て頑丈でその突張りの如きは太刀山をして餘程警戒せしむる程だが場所運が惡いのと取口がそんざいなのとで後の雁に先きになられてしまつた感がある、その他源氏山、宮城山、梅川、釋迦ケ嶽、朝緑など數へ來れば新進力士も少ないがいづれその內に機會を見て書いて見たいとおもふ

◇涼しい芝居◇

曾我廼家一派の喜劇團

壽座は久し振りに曾我廼家一派の喜劇團蝶々會で蓋を開けた、此の種の芝居は初めての京城ではさてどんなものかと思つたが案ずるよりは生むが易し、初日からギシ／＼の人は始めての一行に取つては幸先よしとせねばなるまい。

▣一番目の『日影の戀』は見なかつたが半途から見た『三疊坂』は籠坂の竹本左近座一派の茶氣タツプリな當世文句に作り代へこれを蝶々と辰子が川田りのつもりで語る節としては別に奇もないけれどもそれに連れるお里澤市の振りも珍妙だがお里がサワリの口說き文句の代りに龍殿口調でやり出すには腹を抱へさせる。

▣一々覺ゐてゐないが隨分奇抜な淨瑠璃の文句があつた、楓蝶の執達吏辛子のお里、滿蝶の澤市とも傑作出來だつたが、金蝶の左官の勘三は出色の出來榮ゑ。

▣三番目の『破れ三味線』もよく仕組んであつて曾我廼家式の極度に誇張したものだつた、鳥渡した事だが二番目此の笊ともに團蝶式に舞臺を殘へたり夢の場を見せたりするのは此の連の特物には受ける。

▣然し夢の場は一般に徹底しなかつたらしい。主人公の紙屑屋辛兵衞が夢で藝者の仇吉に會ふ所より夢とも知らず迷ひ出でた戀の闇、花月で仇吉に會ふ所の方が可笑しい內にもしんみりとさせる。

▣筋はよく判る所の解らない夏向きの上乘なものだが曾我廼家一派の艶所で肝腎の艶所を其方のけにして運んで行つてゐ、筋を運ばず、道草ばかり喰つて、これでもか、これでもかといふ風に饒舌りに饒舌り攻めにするのは考へ物だ

▣役者は何れもうまいもので喜蝶の辛兵衛などはあれで力に任せて突込み過ぎる擦さへ無ければ藝の妙味が自然に溢れて居り、楓蝶の箱丁市造も淡さりとしてよく、金蝶の紳士石神は、胡蝶の幇間善八の野太鼓になつたのと共に敬遠するが女優では房子の仇吉などが神妙に演つてる間にも時々深い所を見せた。

▣辛子、玉尾も可もなく不可もなければ千代子の半玉小萬の東京言葉には困つた。それでも富人懸命だから捨てられもしない、生ビールを飲む様な面白く涼しい芝居である(晶)

◉變死 京畿道高陽郡碧蹄面碧蹄里……

……居たるをそれと認めたる常備消防直に出動して船體は燒棄するに至らず

……は二十一日同地の情夫某に伴はれ無斷にて京城に來り南大門驛前笑風旅館……

◉連絡船上陸客 廿三日朝釜山入港新羅丸二等客……

天氣 曇但少雨 ◆六月廿五日

演藝案內
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 大正館 電話八七三

今や全人氣黄金館に集まる
▲世界的大冒險大活劇
▲第二名金 全五十卷の內引續き上場
舊劇 目代二 猿飛佐助 全五卷
「名金」映寫時刻 晝間一時廿分より 夜間午後八時より

本町八 電話五七八 壽座
曾我廼家蝶々會 六月二十四日晝替
一番目 當世女 三場
二番目 新壺坂 二場
三番目 破れ三味線 三場

明治町 浪花館 電話二六〇番
◎お馴染の恭爲獨演會
◎六月廿三日より毎夜七時開演仕候
前座員出演
△滿洲地圖 軍事探偵、善惡乳兄弟、女
△一雙子美人(右長講三席京山恭爲)
入場料特等の外十錢均一

黄金館 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)

御成座 成町 電話一二九一
第十五回目替
一番目 此妻子 全七場
二番目 悲劇 恩 全二場

滿員御禮 連夜多大の喝采 瓢館
カチューシャ
▲薄命に泣く可憐の處女
▲誰か同情の涙に咽ばざる

解雇廣告
佐野副一
右之者今般都合により解雇致候間爾後本店には何等一切關係無之候に付此段謹告候也
京城本町一丁目 佐野彥藏商店

漬物味噌問屋 嶋屋本店 京城岡崎町

懸賞尋人
原籍福岡縣八女郡下廣川村當時平壤府町勇樓方抱娼妓初菊事江口キクエ
年齢二十二歳身長五尺一寸位、長顔色青白く、九州訛、左頰に腫物の跡あり、肉痩せたる方、右本月廿日逃走發見通知の方には相當謝禮す

本院 京城支那領事館前 電話一五四一番
分院 龍山鶴溫泉隣 電話一二一一番
診察 京城 午後自一時至六時 龍山 午前自八時至十二時
中村耳鼻咽喉科醫院

花緒問屋
現代式 各種品揃
勉強、確實、迅速 御用命に應じ候
大阪市東區南本町御堂筋 太田宇兵衛商店
電話東三三九二番 振替大阪五六四番

特許 衛生食卓カバー

此のお膳掛は金屬製で覆布は龜甲紗レース附お膳の大小を選ばず覆布の洗濯が出來折疊み自在かさばらず嶄新理想的品也
定價
東京銀座尾張町 發賣元 三星洋品店
朝鮮京城府本町一丁目 朝鮮代理店 横山隆一支店
電話一六七番 振替口座京城三三〇番
◎特約販賣希望の方は代理店にて御相談に應ず

……にして右足に黒足袋を穿き居り前夜 風に煽り立てられ全部の棠に燃え移…… 者たるものらしく何れの者とも手の附け樣なく騷ぎ立て……

●酌婦のお灸 永登浦東中町料理店 齋藤富藏方抱へ酌婦野口あさか(二三)

●手提金庫を盜む ……

●地久節を祝ふ 京城學寮

□遠く兩親の膝下を離れて□

▲朝鮮の片田舎に在つて小學校も無く兒童の敎育にも差支ゆる人々の爲めに京城學寮といふのが設けられてあります ▲家は京城日報の西側に在りますが兒童は只今廿四人、日々此處から鍾路小學校に通學して居ります ▲學寮ではお母さんの代りに鍾路小學校の先生が居られますが廿五日の地久節には寮生の爲めに慰藉會が催されます ▲當日は松永道長官、關屋學務局長、金谷府尹を始め多數の出席があり亦いろいろな御馳走も振舞はれると聞きました

●高女の地久節祝賀

二十五日 皇后陛下の第三十二回の御誕辰に相當しますので南山の高等女學校にては非常に目出度い地久節の式を擧げます。式は午前八時半に始まり先づ君が代から校長先生のおはなし等がありまして午前十一時半終ります。唱歌は地久節の歌、『雅のゆかり』な歌ひます。先生方はその後音樂室にて地久節の祝賀會を催ふされますが生徒一同は校庭にてピンポン大會をいたします

虞美人草

婦人界消息

△勝田夫人(朝銀總裁夫人) 廿四日朝の急行列車にて東京へ向はれました、當分京城へはお歸りなりません

△宮崎訓導夫人(日出小學校) 宮崎先生の遺骨を携へ二十五日夜行にて南大門驛出發郷里へ向はれます驛には生徒及職員の見送ある筈

△松井しぶ子(全北道事務官夫人) 二十二日内地より全州へ歸られました

△有田はん子(有田鐵道局副參事夫人) 廿四日朝の急行で釜山へ向はれました、因に副參事は鐵道局を辭し朝鮮銀行の應接課長となられましたので龍山驛には大屋長官夫人を始め多數の婦人方が見送られました

學校新聞

回衛生に注意せよ

今は夏の初めであるから、これからは取りわけ衛生に氣をつけなければならぬ、夏になるといろいろの黴菌がふえてくる、一方には人々の身體が弱つてくる、從つて胃や腸も弱る、そこへ不攝生の事をすると怖ろしい疫氣にかかつて遂には死ぬるやうな事になるから銘々が氣をつけねばなりません。氣をつけることは

第一、便所、臺所、戸棚、庭などを淸潔にする事

第二、むやみに水、氷、ラムネ、サイダーなどを飲まぬ事

第三、まだ熟せぬ果物を食せぬこと、熟した果物でも一度に澤山食せぬ事

第四、夜ふかしせぬこと、尋常科の生徒は九時、高等科の生徒でも十時前にやすむやうにする事

第五、朝は早くおきて冷水摩擦や深呼吸をすることなどであります……京城鍾路小學校……

神社と教會とお寺

○西本願寺(若草町) 二十五日午後八時半より『信仰の動機』井口牧師、午後八時半より日曜講話

○妙心寺(旭町) 佐藤瑞巖老師大般若講中に付無盡燈論の提唱は休講

○曹洞宗別院(若草町) 二十五日午後九時より芳風會あり

○日曜學校大會 西本願寺にては廿五日午前九時より開催、面白いおはなしから愉快ないろいろ試みられます、福引もあります

○日本基督教會(龍山漢江通) 二十五日午前八時四十分日曜學校、同十時禮拜説教『友情の清泉』伊藤牧師、午後八時半傳道説教『精神界の名將』

○京城基督教會(南米倉町) 午前九時より日曜學校、同十時より禮拜説教『禮拜中心の日曜日』山本牧師、午後八時半夕拜説教『基督教と日々の生活』

○日本基督教會(長谷川町) 二十五日午前九時より日曜學校、十時より説教『普遍的信仰』

○聖公會(南米倉町) 廿五日午前九時半より早禱、説教、聖餐式、午後八時より晩禱、說教、シンプソン司祭

○メソヂスト教會(南大門通) 午後一時より

―△會いろいろ▽―

□禁酒會 二十五日午後八時三十分より旭町二丁目三十六番地牧師館にて高井文學士の『自他生存論』あり

□觀世松風會 二十五日午前八時より本町五丁目京城謠曲にて開催 加茂(野田、堀内、岩崎)▲俊寛(末松、清水、金、佐山)▲水無月祓(金夫人、矢上夫人)▲三笑(金田、有田)▲小鍛冶(淺井、我孫、山田)▲鉢六天(矢上、山本、齋藤)▲土蜘蛛(丹羽、馬場、中島、谷)▲舍利(北條、勝又、松村)▲禪師曾我(吉川、杉山、松村、谷川)▲東僞(八尾、山内)▲西王母(江川、齋藤、里部)▲道明寺(遠見、市岡、武末)▲經政(齋藤夫人、佐山夫人)▲箙(矢野、石橋)▲巴(鹿野、北條)

□愛國婦人會委員會 二十三日午後二時より臨時常務委員會を開き久芳、金谷、釜尾村上、山田等の各夫人出席二十五日地久節奉祝慶賀會の打合せを爲したり

□鍾路小學學藝會 廿四日開催父兄數十名の參觀ありて盛會でありました

だい所 その日その日

回刺身(すずきの洗ひ造り) 新鮮なるすずきを三枚におろし骨をぬき皮を去り刺身の如く作り冷めた水(冷水の中に氷を入れて)にて洗ひ肉のしまりてちぢれたる度とし皿にあげ水氣をきりおく

▲寒天を水につけおき一時間程の後絞りあげ一合の水と共に鍋に入れ火にかけ溶けたるとき砂糖五匁許り入れて一度漉し箱に流しかたまりたるとき取り出し心太つきにてつき出すか又は庖刃にて細長く切り皿に平らに水のやうに盛り其上に洗ひを盛り添物の實は鹽水につけおき共わきに盛り合せ大根にて花な切りわさびのすりたるを心におく ▲別に小皿に酢と醬油の合せたる汁をそへて出す

番茶のあと

總督府の編輯課で金剛山楡岾寺の寶物五十三佛が噂されましたとき▲活字引の加藤灌覺氏に佛樣の事を尋ねて居りますと『あれは古い新羅佛で洵に惜しいことをしました▲以前にも盜まれたと云ふとですが這回も亦やられましたかへエー……』と感に堪へぬとき▲傍の立柄編輯官が赤鉛筆をとつて『千歳あまり樒のうてなに在しまして佛の姿いとも尊し』

回高粱酒の强烈な刺戟さへ

□支那人はこれを熱しなければ醉はぬ□

◇よく國境を越ゑて間島邊に往つた人は滿洲の馬賊や强盜が如何にも慘忍な殺人を平氣でやるのに驚く ◇併し居牛場の牛殺しとか豚殺しのやうな支那人に恁麼のが多いと言ひます―左右言へば朝鮮人にも同一な實例が見られる ◇何分にも强烈な高粱酒の刺戟さへ熱く熱しなければ醉が買へない國民である、煙草は鴉片となり鴉片は莫比の注射となつて行く支那人の身體には生優しい刺戟では感じがない ◇或る南淸から歸つた人の話しでは支那人は鯉の鮮しいのを誇る爲めに其の全體に血を塗つて置く彼等の血を見るに大膽な事は島渡日本人の想像にも及ばぬところである ◇また滿洲では屠獸場の生血を飲みに來る人も尠なくない ◇これは或る支那街の場末で目睹したはなしであるが驚いたのは草根木皮の漢藥を賣る男が黒の綿襦子の長い袖を捲り上げて長さ五尺餘りの青大將をグッと摑むで何事か喋々と饒舌つて居た ◇血の廻りの鈍い群集を引きつけるには餘程深刻な刺戟でなければ利き目が無いものと見ゑる ◇更に驚くのはある齒拔屋の店頭であつた――打見るところ一面の盆の上には亂鬆な齒拔きの拔きとつた大小の臼齒犬齒が堆かく積まれて中には摟り取つた齦の一斤さへ見ゑた ◇猶ほ驚くのは藥種屋の店頭である、先づ蛙の乾物や虎の頭蓋骨、熊の掌、蛇の皮など物騷なものが平氣で其處らに並べられてある ◇紅い惡どい支那女の著物も支那人の一部に見る獰猛な心の表徵のやうに思はれる

商況

東京株式特電

二十四日 前場寄付 大引

銘柄	前場寄付	大引
日本郵船	三三、〇〇	三三、〇〇
京城電氣	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	一七〇、二〇	一七〇、二〇
同新株	一四七、二〇	一四七、二〇
日本麥酒	―	―
東株第一	―	―
東株第二	―	―
東新第一	―	―
東新第二	―	―

債券現物特電

二十四日川東値段(前日との比較)

銘柄	値段
東洋拓殖	一三九、三〇
京城電氣	―
朝鮮銀行	―
朝鮮瓦斯	―
南滿鐵道	―

東京公債直取引特電

二十四日川東値段(前日との比較)

銘柄	値段
五分特別	九五、四〇
五分利	―
一回四分	八一、一〇
二回四分	八二、一〇
甲五分	九五、三〇

深川在米特電

二十四日現在高

品目	高
朝鮮米	六六、四九八
臺灣米	六七、五一六
内地米	一、九九五、三七七

東京期米特電

限月	廿四日前場寄付	後場
當限	一三、六〇	―
中限	一三、六三	―
先限	一三、五六	―
安値	一三、五七	―

大阪株式特電

銘柄	二十四日前場	後場
宇治川水	[illegible]	[illegible]
神戸電鐵	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
和歌山紡	[illegible]	[illegible]
合同紡織	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡織	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
東洋捕鯨	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本窒素	[illegible]	[illegible]
大阪米穀	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

限月	二十四日前場	後場
六月限	一三六、九〇	一三六、六〇
七月限	一三六、四〇	一三六、六〇
八月限	一三六、八〇	一三六、八〇
九月限	一三六、七〇	一三七、〇〇
十月限	一三七、四〇	一三七、六〇
十一月限	一三七、七〇	一三八、〇〇

大阪期米特電

限月	二十四日前場	後場
當限寄付	一三、四四	[illegible]
中限寄付	一三、八〇	[illegible]
先限寄付	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

二十四日前場崩ひあるも好商氣買

	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿糸愈々鞏固

綿糸は連日の好電報に刺戟されて昨前場は當限百三十七圓先限三十八圓の新高値を見せ後場に至り稍々小崩を見せたりとはいへ……

期待は此邊一押し 現物入電

……

●製粉と小麥

原料小麥の……

先行安見越 ……

各地商況

●釜山(二十三日の穀物)

……

●大邱(二十三日の穀物) ……

●金巾類氣丈

大阪紹巾相場は二十三日五錢高の入電にて龍シーの四圓八十二錢五厘となり漸次高値當時の相場に接近し來れり從つて當地の閑散の當地も不振裡に稍や氣丈の成行きを呈し 細布は依然の如く上げ久しく建値以下の百三十五錢方の持しつつありし 粗布も三千三ありし此際建値の百三十六圓を勵行せんとする向きとなれり一面に於ては昨今の閑散時期に當り在荷は非常に豊富にして會社は當分入荷止めの方針を取り居れる現狀なれば今回の建値の勵行に就ては尙多少の懸念なきにあらざるも會社側も次第に内地相場と採算し得ざる事となり況込み而のみならず一時仁川より鑑安品も略一段落の模樣なれば此際建値を斷行する事は敢て不可能といふを得ずと

●製粉市價

ふに及ばずとなし徐に時機の到來を待てる風情あり果して見越し通りに先安の實現せらるべきや否やは測り知る可らざれど米價安は實人氣を喚起すること勿論にして製粉市價が會社も自ら四錢安の十一錢に保合ひ仲力にし乏しきは新小麥の先安を見越しての人情あるは明らか也

●砂糖は不味

目先の氣迷ひの姿なり内地の糖界は瓜哇糖の十八志六片と高報あり依然强持合に止まり地方問屋筋は目先高を見越して相當高値に引取り品物は米價安の爲めに……

下關相場

物の絕えざる模樣なり 今尙割安

▲朝鮮米(銘柄) 白米二百六十叺入荷ありしが同分野手柄品痛みを懸念せる買人の多ふくが買控にて……

京城正米

……

仁川期米

二十四日前場 昨止より五錢高

入電二節二十九

錢と小安 八錢と跳れ返

市場零聞

依然保合

氣乘薄商内

復又動かず

小競合に止

取組益增加

遂に先限八萬五千七百五十石

南大門の廻穀

仁川現物市場

生魚市場

仁川米豆取引所仲買人 支配人土居勝 仲買店 電話二八二番 園二八三番

▲此度は脅迫

▲私信の一齣

全く流失 麥は半減の悲

苗甫全部腐蝕

害は實に慘憺 名狀すべからず今回の被

全然望を失ふ 洪水は百年以來

仁川米豆取引所

二十四日の八月限

前場	値段
寄付	十一圓四十七錢
高値	十一圓四十八錢
安値	十一圓四十七錢
止め	十一圓四十八錢
出來	三萬千石

平均値段	値段
一節	十一圓五十四錢
二節	十一圓五十五錢
三節	十一圓五十六錢
四節	十一圓六十七錢
五節	十一圓六十七錢

賣買取組高

限月	高
六月限	千四百五十石
七月限	五萬七百石
八月限	八萬五千七百五十石

銅價安と株式

北濱だより

▲南滿新株

小賣白米

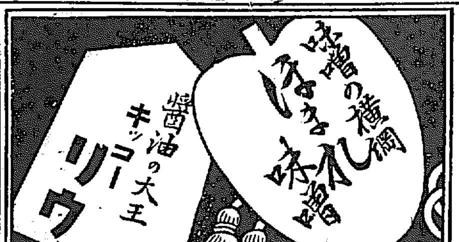
現金賣 一等白米 十四錢

自動車 運轉手 東京市京橋南紺屋町 發動機協會

米 期 大阪堂島米穀取引所仲買 今延商店

くだりはらの 氣持よく止まる 健胃固腸丸 本舖大阪 谷田春堂

新築移轉御披露 今回業務擴張の爲め本町二丁目京城電氣會社前へ移轉仕り候 イングレッシー商會 電話九七二番



御案内 遊漁船 釣道具 卸小賣 仁川海岸町三丁目角 芹川漁具店 電話七五四番

遊漁御案内 仁川仲町 仁川用達社遊漁部

完全哺育料 母乳代用品 犬印 滋養糖 和光堂

機械油 カーバイト 營業所 門司市 日本石油會社機械油一手販賣 信濃電氣會社カーバイト一手販賣

チヂミシャツ類は 自作自給の 鈴木支店に限ります 京城本町二丁目(電話一八七二番)

醇良清酒 白鶴 仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九

營業品目 肥料部 石鹼部 朝鮮肥料製造所 朝日石鹼製造所

ペップサイダー ブドウサイダー キリン印ラムネ 平壤泉町 梶原

硝子板各種 大連市信濃町 松島商店

宮本武藏

第七十九回

桃川如燕口記
浪上義三郎速演

此の白倉源右衛門の配偶お照といふものは江戸表の目黒行人坂で、宮本先生の爲めに殺されたる澤田圭左衛門の妹で、肥後熊本なる佐々木の道場にて四天王の一人澤田一角の姉である、其ゆゑ良人源吾右衛門に向つて 照『切望兄さんの仇討をして下さい』と迫られて 源『諾し承知した』と請合は請合つたが、容易に討つ譯には往かん、ソコで宮本に澤山酒を飲ませて寐かせ、槍を小脇に抱込んで白倉が寐て居る武藏を突殺さうと思つて忍び寄つたが、此鬼突かれるやうでは名人上手とは云へない、劔術の名人と云ふものは暗の夜に家根へ霜の降るのを知つて居る位でなければ名人とは云はぬもの、白倉は槍を持つてブル〳〵震へながら眼を覺されては大變だと思つて來ると 武『アヽ誰だ、次の間へ來たのは誰だ』 源『ア、眼を覺しちやア大變だ』とコソ〳〵逃げて仕まふ、其翌日は亦十分御馳走をして寐かし、突ッ掛らうとすると 武『次の間へ來たのは誰だ』眼を覺すから又逃げて仕まふ、斯ういふ鹽梅で何うしても討つことが出來ないから、一刀利七、高野藤八、柳八郎左衛門なんと云ふ門人を集めて相談をした 源『さて實は斯う〳〵いふ理由で、愚妻の兄の仇討をしてやらうと思ふのだが、どうしたものであらう、何とか好い工夫はあるまいか』スルと一刀利七が 利『其おやア先生、先達てから御普請にお掛りなすつたが、戸棚風呂へ宮本を入れ、大工に手落があつたと名を附け表を釘締にして仕まひ、夫うして湯を沸し、宮本を茹殺しては如何でござる、如何に腕前が達して居ても熱湯にて茹殺す分には少しも恐れることはありますまい 源『成程、其は好い考へだ其ぢやア爾ういふことに仕やう』と手筈を斯う〳〵と取極めました、さて宮本がいよ〳〵出立をするといふから 源『最う先生お止め申しは致しませんが、明日お立ちなさるやうに其に就て先達てから普請に取掛つて居た風呂が漸々出來上りましたから、お風呂を召しますやうに、風呂からお上りになつたら相變らず御酒を御馳走いたしますから』 武『拙者は檜の香氣が大好でござるから、其では御風呂を頂戴しやう』と云つて風呂場へ來る 源『私も御一緒に……』と共に風呂へ這入つて、先へ白倉が出ると直ぐにピーンと戸棚を締めて仕まひ其からドン〳〵ドン〳〵大勢の弟子が來て長い釘で戸を釘締めにしてしまいました 武『コレ〳〵何う餘り締切ては逆上せて仕かんから少し開けて貰ひたい、少々開けて……』と云ふを聞かぬ振をしてドン〳〵下から火を焚いた段々熱く成つて來たから 武『コレ〳〵餘り熱いから冷水をお貰ひ申したい、冷水を廻して下さい、コレ冷水を……』と云つても何んとも答へない、是に於て武藏先生手拭にてギツチリ腹を締めて 武『是れには何か仔細が有るだらう』と思つたが熱くつて堪らないからドンと表の戸へ躰を打附けたが風呂のことゆゑ自分の躰が浮上つて十分に力が這入らぬ、前に打附かつてギツクリともしない 武『是には何か仔細があらう譯れ〳〵』と呼はると白倉源吾右衛門は大音を上げて 源『ヤー宮本能く承はれ江戸表目黒行人坂において汝の爲めに非業の最期を遂し澤田圭左衛門の妹照と云へるは我配偶である、依て唯今恐妻の兄のため仇討をいたすから左様相心得ろ、熱いといふは些との間、怖い夢を見たと思へ』とんだ石川五右衛門を氣取つて居る……一刀利七を初め大勢の門人は 〇『如何に三面六臂の宮本でも此計略に懸つちやア叶うまい』△『生ながらにして湯沸を使うとは仕合せ者だ』×『早く往生して了へ』と口々に呼はつたり、モウ是までと思ひしに武藏先生が此の風呂を蹴破つて現はれ出で、白倉師弟十一人の者を殺して此所を退散に及ぶといふ宮本武藏の風呂破りの一條……。

皮膚科

皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍

入院隨意(診察夜九時迄)
日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元三日町)
佐藤醫院
(電話一一七三番)

六月廿六日九星

舊五月廿六日甲午
本命六白乾西赤口

▲六白● 趣巡のつかぬ斷有日 新規見合南方は吉 睹創乾▲七赤● 倖踊の日 轉居行商 入學求職 汎源禄ト婚館金融販賣吉吉▲八白● 慶祝の日 轉居旅行入門求職建築井戸掘 婚禮金件賣皆吉物に ラ勝の日▲九紫● 識を要する日 新事手控當の事は 吉小見術生水難注意▲一白● 勝負を得る日 轉居行商 當皆吉女子は家業を勵し立身を爲す大有 望の日山▲二黑● 謀略の當る日轉居旅行求職 伴探鑛 新組海外 取引業等 萬吉▲三碧● 女難口 舌用心の日 新事手控當事は吉備散財を防がるべし▲四綠● 年僧牛疑の事有日 新事手控當事良 は妨なし▲五黃● 力衝き日轉居行商 求職 名出 入道倉脈婚禮土工請負求職皆吉

入院隨時
旭町三丁目十三番地
小兒科 内科 若槻醫院
電話二四六二番
ドクトル メヂチチ 若槻寛隆

京城南米倉町朝市場通り
專門 歯科 大正歯科醫院
電話取次七一六番

商業登記公告
一大昌貿易株式會社ノ設立年月日ヲ大正五年四月拾參日ト更正ス
右大正五年六月貳拾參日登記
京城地方法院

酒 煙草 きらひになる藥
酒や煙草の好な人が……禁酒丸……禁煙液……を不思議に心から嫌いになる郵券二錢送れば説明書及大澤博士の禁酒禁煙論進呈
其他名士の
本舖 大阪市南區順慶町通二 森田商店

りん病
消渇を困る方に多年の慢性を全治の
自宅にて人知れず安全秘密に治療し長藥あり只一劑を試よ切手三錢送り賞藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町 武藤龜吉

直治　グスリ　効のある目藥　水
トラホーム 其他眼病 諸症 奇効あり
提供定價二十五錢(郵税不要)
水谷 製劑 所 …平商會
全國藥店にあり

巻貫
大美代
富士商會
大邱電話五〇六番

村井弦齋先生發見
胃腸病 胃癌 妙藥
タラコン湯
一週分一圓(郵税不要) 二週分一圓九十錢(郵税不要)
需用激増工場新設 藥効確實診療開始
東京小石川下富坂町十
(移轉) 無量壽藥園
振替東京二〇〇二

海產物 雜穀 北海道產 輸出商
小樽區港町本通
大杉商店
電略「ヲス」又ハ「ヲ」

質
京城黃金二町丁目(永樂町派出所北入)
堀佐營業所
(電話六三九番)

かや 大賣出し
六月廿五日より三十日まで
京城明治町 唐川呉服店
電話一六二番
期間中五分引 見切かやも色々あります

ミツワ石鹼

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす皮脂の分泌量多くして而かも組織なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず

〇ミツワ石鹼は

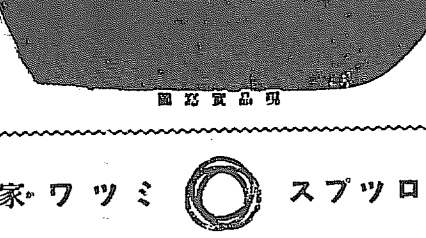
化學上の純石鹼たるのみならず、なほ左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず
一、温雅の芳香を有す
一、細き泡沫を生じ適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

種類	
大形家庭用	定價金貳拾錢
中形携帶用	定價金拾參錢
小形旅行用	定價金拾錢
極小形旅館用	定價金五錢

技師 工學士 藤野太治郎
理學士 甲斐莊楠香


現品實寫圖

肝油ドロップス　〇　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橘町四丁目
丸見屋商店
電話特長浪花{四四八番 四四九番 四五〇番}三〇番
振替東京一七〇番

胃活定價　金壹圓　金貳圓
胃活錠定價　金五拾錢　金壹圓

萬年毛筆 タイヨー
特價發賣以來其完全無缺なると活動家の携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收たれば聊か謝意を表する爲め五千本を限り特價六十四錢を以て發賣仕候條此の際引續き御用命ありたし
新案特許三六二九八號 特價六十四錢 スクリップ金五錢 特種金八錢
振替貯金口座京城三〇〇番
京城日報社代理部

安東大連天津航路

毎月六回
天潮丸(一、三〇〇噸)
濟通丸(一、二〇〇噸)

奉天經由に比し費用と時間に非常の利便あり

運賃
安東大連間 一等 金拾圓 三等 金五圓
安東天津間 一等 金貳拾五圓 三等 金拾圓五拾錢

大連市
大連汽船株式會社
出張所 安東縣財神廟街 天津獨逸租界

京城日報 第三版

廿五日朝刊(夕刊と合せて八頁)

京城論壇

俳句の生命

井出台水

碧梧桐が嘗て今の東京停車場の建築中であつたが怎麼意味の事を言つた―

彼の大建築の傍に『危險に付近寄るべからず』とした立札があるにも拘はらず澤山の人が佇んで工事を眺めてゐる。處が上で仕事をしてる者が時折『危いッ!!』と叫ぶと下で見てる群集がパッと四方に散つて危險を避ける。此處なのだ。危いッ…一語の內には甚短い裡に充實した眞實味がある。けれども『危險に付近寄るべからず』と云ふ長い文句の裡には更に眞實味がない。隨つて意味が徹底しない。俳句の狙ひ處は此處なのだ。

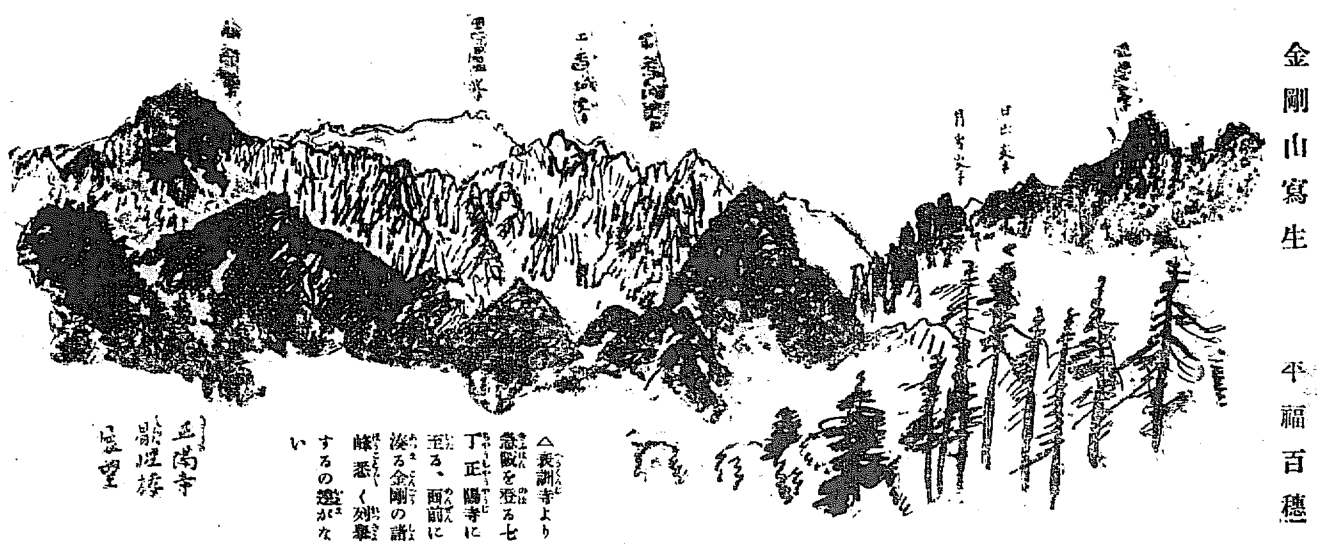
我輩は危險に付近寄るべからずと云ふ立札の文句は死んでるんだと思ふ。危いッ!と云ふ一語は活きてるんだと思ふ。碧梧桐は之を稱して眞實味と言ふが我輩は其處に氣合があるからなのだと思ふ。我輩の氣合と云ふ語の意味は、彼の催眠術などの所謂氣合の意味もあるが、尙其れ以上の意味を含んでゐる。人間は活きてゐる。活きてゐる者は死んでゐる者を自由にする事が出來る。即ち死物に無い或物が生物にあるからである。尙一歩進めて人間と人間と相對した時に於ても、何となく強く威壓せられる樣な又征服せられる樣な感じを抱かせられる事があるが、其處には今の或物が一方には多く強く他方には尠く弱いからである。此或物を我輩は氣合と稱するのである。

雛妓が舞ふ。我輩には元より舞の事は解らぬ無いが其手振り足どりの裡に何となく充實したものがあり緊張したものがあると感ずれば其舞は上手なのだと思ふ。箏瑚珊にしても琵琶にしても總て我輩にはよくも解らぬから其聲の抑揚や節廻しの調子丈けでは巧拙を判じ兼ねるが其聲が何處から出てるか、浮ッ調子か力が入つてるかで其巧拙に就ての判斷はつく。總ての事は此處迄見極め得べきものだと思ふ。俳句は世界中に於て最も短簡な詩型だと云ふが、俳句の生命は實に其短簡な處にあるのだ。一字一句の增減も出來ず緊張し充實してキビ〳〵とした端的な氣分―即ち我輩の所謂氣合に充ちた處が俳句の生命でなくてはならぬ。或る無形(叙情)有形(叙事)の事象に對して感じた端的の氣分を(碧梧桐の所謂眞實味を捉へて)カッと吐き捨てた喋の口を離れて行く時の樣な說明を容れ得ぬ表現、其處に俳句の生命がある。其處に緊張した充實した氣合が含まれてゐるとすれば十五字であつても少しも物足らぬ氣持はせず廿字あつても決して冗漫な感じは無い。字餘りや字足らずなどの樣な形式的な事は決して意としない、唯要は緊張してるか空疎かと云ふ處にある。眞實味の在りや無しや、氣合の存否にある。

我輩は俳句の事を思ふ度每に故兒玉大將の事を思ひ出す。大將は形體も言語も動作も實に緊張して充實してキビ〳〵して快感を與へた。俳句を見て兒玉大將に遭た樣な感じを與へるものがあつたらそれが我輩の云ふ俳句になつて居るものだと思ふ。

俳句は他人の爲めに作るのでは無い。或る事象に對する刹那の感じを表現するのに何で他人の爲めにと云ふ樣な忖度があらう自らの爲めに自らの刹那の氣分を表現するのである。隨つて或る意味に於て絕對的のものである。他人の理解も同情も超越して獨自の境地に紫然たる孤矜を侍とするとする。(又然し例へば祝賀や弔慰の爲めに贈る樣な場合には對者の理解の必要があるから隨つて多少意味が違つて來る)眞の意味に於て詩は絕對的のものである。詩の鑑賞者が作者たる詩人と相等しい感興を味はひ得るものとは言へない。唯其れは稍近接した氣分を味ひ稍や相似た興趣を感じ得ると云ふ事が出來る許りである。蕪村の輪講をしても鳴雪と虛子と碧梧桐とは三人三樣の解釋がある。有名な芭蕉の『古池』の句に對しても如何に澤山の解釋があるか知れない。然も芭蕉が果してどういふ氣分で作つたのか解らない。是れは取つて以て古今を通じ凡百の俳人と其作句に對しても同じ意味の事が言へると思ふ。即ち我輩の作句は我輩のみ最も〳〵味ひ得るものであると言はねばならぬ。

我輩は謠曲をやるが謠曲程充實緊張した謠ひ物は無いと思ふ『急ぎ候程に』と左も悠長らしく謠ひ乍ら心から謠つてると其處に如何にも急いでる氣分が躍如として湧き出して來る。節曲は短くて六枚、長くて十二枚、然も一頁が六行位に大きな字で書いてある。其れで優に軟文學の百頁位の事は盡してゐると思ふ。唯其れ丈けの短いもの、裡に非常に複雜した氣分が含まれ然も一字一句の增減も許さぬ程に充實し緊張し我輩の所謂氣合に滿ちてゐる。我輩は軍人である。軍人は常に充實し緊張し力に滿ちて直截簡明を侍とし又とする。即ち我輩は軍人として恰も謠曲と俳句が軍人の表象であるかの如き趣のある處を愛してゐる譯である。其處に同じ氣脈相通じ、同じ氣風が存立してゐる樣に思はれる。



金剛山寫生　平福百穗

△表訓寺より急峻を登る七丁正陽寺に至る、面前に湊る金剛の諸峰悉く列擧するの遑がない

城壁文學

(第二)李朝太祖京城奠都の眞相(續)

小田省吾

そこで改めて遷都地の搜査を始めたが、第一に候補となつたのは毋岳の南地である。即ち多分今の京畿道高陽郡延禧面延禧里(延禧宮の在つた處)であつたと思はれる。之を主張したものは例の河崙であつたが、此の地に就いては書雲觀が反對して容易に決しない。そこで太祖は親ら實地見聞の上之を決定せむと欲し、三年八月權を命じ、兩城を發して京城の附近なる毋岳の南に來て其の地を視た。然るに此地に就いては初より書雲觀が不贊成を唱へたばかりでなく、相臣は大抵皆遷都尙早論を主張し、彼の鄭道傳の如きも堂々數百言を陳して、國家創造の今日宜しく民力を休養し、天時を察し、徐ろに地を相して而して後に遷るべきを上言した。是れには太祖も大に困つたのであるが、彼が遷都の意志は勃々として抑へることが出來ない。是れは彼の胸中に前朝よりも一層規模宏大なる王都を定めて國家の安固を圖らうといふ希望と、一には又當時松都即ち開城は地德既に衰へ、王氏逐に亡びたのであるから、とても永く國都たるべき地でないと一日も早く遷るが宜しいとの說が行はれたからである。

是に於て太祖は他の好地を選擇すべく、毋岳の下より迴を廻らして始めて漢陽府に入つた。然るに此の地は高麗の時南京とした丈けあつて、山河の形勢、漕運の便、諸地方よりの道近、何れより見るも最も王都たるに好適の土地と思はれた。太祖大に悅んで之を扈從せし王師自超(檜巖寺の僧)に問うた。自超對へて、

『此の地四面高秀にして中央平衍、宜しく城邑となすべし。然れども衆議に從つて之を定めよ』

と謂つた。因て直ちに諸宰相をして之を議せしめしに、僞早論を主張した諸宰相も、此の上太祖の意を枉げることを得ざりしと見えて、

『必ず遷都せむと欲せば此處を可となす』

と議決をしたが、河崙一人はどこまでも毋岳を主張して漢陽を否認したといふことである。衆議の協贊を得た太祖は心既に決する所があつた、併し乍ら序を以て尙一二の候補地を觀たのに到底彼の地に優る所がない。即で愈々漢陽遷都の事に決して開城に歸還したのが恰も八月十八日で有た。太祖は開城に歸還すると九月一日に新都宮闕造營都監を置き、沈德符、金湊、李恬、李稷を以て判事とした。是れ實に漢陽遷都に就いての最初の施設であつた。早くも同月九日には權仲和(書雲觀長)鄭道傳等は造成都監の判事と共に命を受けて漢陽に行き、宗廟、社稷、宮闕、朝市、道路の基地を考定し、詳かに圖に作つて復命した。越て十月廿五日(辛卯)太祖は各司に二員づゝを留めて留守とし百官を率ゐて開城を發し、其の漢陽に入つたのは同月廿八日(甲午)であつた。』

以上は太祖實錄に據つて京城奠都の眞相を調べたのであるが、玆に一つ論じて置かねばならぬ事がある。それは是迄往々太祖の奠都せば五年十二月として居るが、實錄によれば上述の如く三年十月である。然らば李朝太祖の京城奠都は果して五年なりや、の問題を解決せねばならぬ。

五年說の根據は何れに在るか、小生の寡聞なるため能は知らぬが、恐らく燃藜室記述に『五年丙子、築都城正月始役云々(雜記)』の下に『丙子十二月、移都漢陽』とあるに據つたものであらうと思ふ。丙子は疑もなく太祖の五年で、都城築造の役を始めたのは正月であるから東閣雜記の記事に誤はないが、其の次の同年十二月都を漢陽に移した記事には出處が明記してない。誠に怪しいものである。思ふに都城の出來たのが五年であるから同書の編者が推測して書き加へたものであらう。三年說は本朝の勅選史たる國朝寶鑑に

『殿下(太祖)卽位の三年都を漢陽に定む』とある丈でも確であるが、尙實錄の內には確乎動かすべからざる證據が擧げてある、即ち愈々廟社宮闕の工事を始める時に皇天后土並に山川の神を祭つた時の祭文が載せてあつて、其內に

『朝鮮國王位に卽き、蒞業圖理今に三年、迺ち日官の言を用ゐて都を漢陽に定む』

『臣(太祖自らのこと)諸を臣僚に詢り、宗廟に請ひ、乃ち十月二十五日を以て漢陽に遷る』

とあるのが其である。是れに依れば太祖の京城奠都は三年十月(我が後小松天皇の應永元年西曆一三九四年)で、今より五百二十二年前であると斷定するのが正當と信ずる。』

日報歌壇

□　京城　露峰

初夏は深海に光りし碧き眼の魚のごとくひれふりてきし

烏龍茶すゝれば冷ゆしわが腹にすき通るかな夏はさかれり

□才子の眼　京城　安井青水

なか〳〵の才子と聞きし其人の眼はおそろしう光り居にけり

誅らるゝ前にもだしてうなだれて筆はざりし我がいとほしさ

夏季景品附大賣出し

サッポロアサヒビール

景品總額(金四千百數十圓也)

■壹打每に景品券壹枚差上ます

■景品目錄

等級	品目	個數	價格	當り籤	合計金額
一等	勸業債券	貳拾圓券四枚	金八拾圓	五本	金四百圓
二等	貯蓄債券	五圓券四枚	金貳拾圓	貳拾五本	金五百圓
三等	郵便切手	參錢切手六拾枚	金壹圓八拾錢	千貳百四十本	金貳千貳百參拾貳圓
四等	郵便切手	壹錢切手四枚	金拾貳錢	八千七百參拾本	金壹千〇四拾七圓六拾錢

合計籤數壹萬本(壹本も空籤なし)景品金額四千百七拾九圓六拾錢

■景品附區域　朝鮮全道及安東縣
■景品附箱數　壹萬箱限り
■賣出期間　大正五年自六月十五日至七月十四日
■景品抽籤券　サッポロ、アサヒビール八打入壹箱に小券四枚(壹打は小券壹枚)
■抽籤期日　來る八月十五日
■抽籤場所　京城商業會議所
■景品引換　當社京城出張所
(景品券は麥酒御購求の際其販賣店より直接御受取被下度候)

■四打入壹箱每に小券四枚進呈

大日本麥酒株式會社京城出張所

學生

海へ〳〵(大町主筆)
苦學生と樂學生(鎌田慶大學長)
淸光の名刀を揮つて(淺田大將)
高等學校入學前(中村成蹊校長)
村田、菅沼、今井一高教授三氏
室內運動法(熊谷早大教授)
能勢の大塚は 平井晚村氏
歷史小說の痛快なる(高內前外相)
大町桂月 主筆
郵稅共廿三錢 十二冊分二圓六十錢五厘
英字新聞
學生一人を殺す
北海 大河內博士
海戰 潮川博士
中學生の頭腦解剖(草間與風 中學教諭)
天才か痴た凡才か(佐々木 文學博士)
外國語の可笑な發音(遠藤 法學博士)
英文優等生(片山升 學校教授)
公の頭 學生新聞 グラフィック 新案懸賞(櫻井孝 中學教諭)
慶應 一高の組取(山內博士)
草木の夏に茂るわけ
東京 神田 富山房 振替五〇一

婦人世界

子供の惡癖を直した母の苦心
人見知りの癖　爪を嚙む癖　わがまゝの癖　辨當を殘す癖　うそつきの癖　左手利きの癖
加藤男爵夫人、田中博士夫人、鳩山夫人等の實驗、何れも母親の好參考

臺所科學的研究　村井弦齋
…食道樂以後の大文字　如何なる婦人も是非讀んで戴きたい

○臺所の無駄を省く工夫
○三人前三十錢の洋食獻立

家計不足を嘆く妻に…嘉悅孝子

○西洋手拭二枚で子供服を作る法　加藤博士
○子供のひきつけ手當
○繼母と繼子の圓滿なる家庭實例　斯くしてこそ繼母と繼子と親和すれ

夏の飲み物調べ
大隈伯、高田文相、新渡戶博士邸を始め諸家の飲みもの調べ皆手輕簡易にできる

七月號　一冊十七錢郵稅一錢●東京京橋實業之日本社●振替東京三二六

明治公債株式會社朝鮮支部
▲外務社員募集
▲京城府東拓會社隣
電話一九〇八番(振替京城二五五〇番)

○亞拉比亞獨立と開戰
メッカ陷落＝メヂナ重圍に陷る

カイロ來電に曰くメッカの回敎大僧正は西部並に中部亞拉比亞民族の推立する所となり亞拉比亞が土耳古より獨立せる旨を宣言せり戰鬪は九日より開始されメッカ、ジエダー及タイフは既に獨立軍の手に歸せり、土軍守備隊は降伏し獨立軍はジエダーに於て軍隊千四百五十及び大砲六門を鹵獲せりメヂナは目下重圍中にあり（倫敦電報）

○獨軍敗退

露都發表公報に曰く獨軍はドヴインスクよりプリペツトに至る北部戰線の數個地點に於て激烈なる攻擊を行ひしも隨所に擊退せられたり（倫敦電報）

○愛蘭總督辭職

英國首相アスクイス氏が下院に於て發表せる所に依れば、愛蘭總督ウイハボーン卿の辭職は聽許せられたりと（倫敦電報）

○滿蒙宗社黨の活動

大石橋、海城を根據として宗社黨の一派事を擧げ附近の巡警等之に加はり保衛團を襲ひ銃器を掠奪し勢侮り難し、他の方面に於ても宗社黨は漸く其の勢を得來らんとす蒙古方面も同樣の兆あり（大連特電）

○約法問題の形勢

舊約法復活につき黎總統は內閣員に責任を負はしめざる聲言を爲し命令にて新舊約法の何れを採用するかは將來の國會に問ふべく其の間當分舊約法に依りて處理すとの意を二三日中に發表すべき形勢なり（北京特電）

○李烈鈞、龍濟光の活動

香港來電に依れば李烈鈞は廣東省韶州の市街及び郵便局、鐵道停車場を占領し粤漢鐵道の一部を破壞し龍濟光は一千の兵を同地方に派遣したり（上海特電）

○舊參衆兩議員召集

上海在留の舊參、衆兩院議員等は愈々同地に該團を召集する事に決し各省議員に六月三十日迄に同地に來集すべき旨を電告し奉天省議員等も參會すべく目下出發の準備中なり（奉天特電）

○袁項城派總辭職か

現內閣及び各部にある前總統派は袁氏の葬儀後直に二十八日連袂辭職をなすべし（北京特電）

○陳財政總長か

財政總長は熊希齡氏の推薦により陳錦濤氏任命さるべしと（北京特電）

○東淸鐵道引渡期

東淸鐵道の引渡期は契約成立後一箇年後なりと傳へらる（東京電報）

○北墨事件と米國下院

華盛頓來電に依れば米國下院は滿場一致を以て北部墨西哥に於ける形勢に鑑み此の際ウイルソン大統領が直に洲兵を米國軍隊に編入するの宣誓をなさしむることを正當と認むべき旨を可決し尚ほ兵士家族を扶助救濟するの方法を講ぜんが爲百萬弗支出の件をも可決したり之れ兵卒が家族を維持する能力を失ふことを豫期したるなり（紐育電報）

○邦人被害確實

米國兵のチワワに於て日本居留民一名を殺害せる事は愈々確實となれり（桑港電報）

○銃砲火藥取締規則
一部改正來議會に提出

政府は銃砲火藥類取締規則一部の改正を加へ之を來議會に提出すべく目下陸軍、內務兩省間に協議中なり改正の要點は民間にも火藥其の他爆發物の製造を許可せんとするに在るが現行規定に依れば民間の火藥製造は陸軍又は海軍の孰れかより委托製作の場合に限られ居るを輸出其他適當の機會に在つては前記の制限に依らず製作し得る事とし斯くて聯合與國への供給又は擴用、鑛山用火藥ダイナマイト等の不足を補はんとするにありと（東京特電）

○咸北明川の牛疫

々蔓延の兆ありしを以て官憲に於ても防疫に從事せる [illegible] 道下各郡とも挿秧の最中 [illegible] 五月三日頃より [illegible] 耕牛を斃り得之れを前年に比し一七 [illegible] 蟲害及び其他の災害等は毫も蒙り居 [illegible] 人の隙を窺つて金側銀側懷中時計二 [illegible] 十三日午後一後頃管內黃海道中 [illegible] 興德面沙浦里の新岸にて同里崔炯文 [illegible]

○宮內高等官敍陞

宮內省高等官の陞敍は二十四日發表せられたるが今回は陞敍のみに止まり追つて免官異動の發表あるべしと（東京特電）

○同志會法部會

同志會にては廿四日午後一時より本部に於て第六部會（司法部）を開き齋藤宇一郞氏の提案に係る區裁判所の數及び位置並に登記所改善の兩問題其他に就て協議せり（東京電報）

○聯合經濟會議の決議

今回發表されし巴里に於る聯合經濟會議の決議事項を通覽するに大體に於て聽心駭目に値する者なく直言すれば交戰以來各國各々行ひつゝある措置並に戰後當然執るべき手段を條文とせるに過ぎざるが如し、乃ち其の第一戰時に對する措置は英佛露伊の各交戰國共現に事實上從々實行しつゝある事に屬し第二聯合國の商業工業農業及び海運業の回復期に於ける應急手段云々の如きは當然各國共特に協定をなす迄もなく孰らざる可からざる手段なり、唯重大の關係を生ずるは第三聯合國間に於ける共助及び協力の永久的措置を議定したるにあり

▲資本の共助 並に關稅同盟の謂ひならんが其の具體的に詳細を盡し居らざるは明確に議定せざりしや若くば議定するも發表せざりしや疑はしけれど要之互ひに利害關係を異にする列國が戰後永久に斯の如きを果して實行せられ得べき事なりや、列國共其の己れの損得勘定を度外に措き良く合縱連衡し得るや、聊か疑ひなき能はざるなり、此點に於て決議實行を强要せずてふ後電あるに徵すれば成程と首肯せらるゝ點もあれど此の決議の實行は姑らく措き其精神は一種の示威運動に非ずやと思ふ、何となれば若し講和談判に獨逸が占領各地の拋棄を口實に强硬の態度をとる場合此の決議を以て

▲敵國を屈伏せしめんとするものに非ずや、此の決議の實行が如何なる影響を日本に與ふるかの問題は先づ日本が此の決議を尊重し忠實に實行するや否やを前提とせざる可らず未だ其の態度の決定なき今日是非の言を控ゆるも若し實施に決定せば影響する範圍頗る廣汎にして利害の及ぶ所甚だ重大なりと云ひ得べく日本にとり必らずしも有利なりとは信じ難し（某氏談）

○サルタレル財團設立

平北昌城、朔州兩郡の鑛山所有者サルタレル孃は同鑛山收益の一半を割いて朝鮮及び內地に於ける慈善、救濟、感化、敎育の事業に資せしむるの目的を以て總督に對し豫て財團法人設立の件を委任し、同時に同鑛山三箇年度の收益中より三萬九千餘圓を附して手續を經たるは既記の通りなるが總督は之れに對し宇佐美內務部長官を副代理人として諸般の手續を執行せしめ十九日附を以て其許可を得、二十四日登錄を了せり、同法人は之れをサルタレル財團法人と稱し年々收入を折半して一を朝鮮、他を內地の前記諸事業中の資とするに決し宇佐美長官を理事とし石塚、荒井兩局長、小松顧問、兒玉兩局長、關屋、秋山參事官を評議員に囑託せたり、事業の方法其他の詳細は追つて委員會を開き決定の筈なりと

○重石下落原因
南米秘露の産出夥多

一時は一噸の價格優良品六千餘圓を稱せし重石も最近に至りては並物一噸二千圓を下らんとする趨勢を示したれば一般斯業界の恐慌一方ならず就中貧鑛經營者に在りては到底收支償はざれば休鑛せるもの鮮からずと傳ふる折柄今回下落原因に付高田商會京城出張所員は曰く本店よりの通牒に依れば米國にては歐州戰亂と共に獨逸商人の手より重石の供給を杜絕せられし爲め製鐵事業上一大缺陷を見んとせしかば同國は各國に向つて重石買入を交涉し價格の奈何を問はず蒐集に努めたる結果遂に一噸六千圓以上の暴騰を示したるものなり然るに右暴騰と共に各地漸く重石熱勃興し爲に産額を增加し朝鮮の如きも每月數十噸の輸出を爲したるが米國に於ては猶是等を以て需給を滿足するものに非ずと做し更に進んで夙に獨逸人の手に依りて供給せられし産出地を搜索せるに漸く秘露國內の某所に一大鑛區の存在せるを確め目下休鑛中なるを以て米人の手に依り最近採鑛に着手せるに大の鑛量及び含有量の豊富なること愕くべきものあり仍て同地より陸續米國市場に供給を見るに至りたる結果は米國にても今や漸く供給過剩となり價格の大暴落を示すに至りたるものゝ如し又英國にても用途旺盛なりと雖も同國は濠洲に多量の産出を控へ居れば敢て他國の供給を仰がずとも充分にして隨て英國相場は近時最も低廉なり又世間往々重石は米國を經て獨逸に輸出せらるゝが如く傳ふるものありと雖も大部分は目下米國に於ける軍器製作用に供せられつゝあるものゝ如く斯相場は逐日下落の模樣なれば今後の採鑛着手者は充分なる覺悟を以て稼行すべきものなりと信ずと云々

總督府新營廳舍
建築の由來及び其の經過に就て
土木局長　持地六三郞氏談

明治四十三年十月日韓併合の結果、朝鮮總督府官制實施せられたが、當時本府の各部局中、現在の廳舍卽ち元の統監府廳舍內に纏つて居たのは獨り官房あるのみで、其の他は何れも市中隨所に散在してゐる舊政府各部の廳舍に割據して居て相互の往復交涉に多大の時間と手數とを要し、執務上の不便一方ならなかつた爲めに廳舍の新築は當時より講究すべき一問題となつて居たのであるが其應急策として明治四十四年一月現在の

▲廳舍に增築 を施行し、同年八月各所に散在してゐた各部局を現在の箇所に收容した爲め、當面の不便は之を免れることが出來たけれども是は素より一時の假設備に過ぎぬからして新廳舍建築の計畫は引き續いて攻究せられたのである、然るに其後景福宮を李王職から引き繼ぐに及び、遂に地を該に卜して本廳舍を建築することに決し、朝鮮神社の造營と共に、朝鮮神社及び總督府廳舍新營準備費として大正元年度豫算に三萬圓を計上し、其成立を見るに至つたのである、依つて同年度に於ては建築に關する

▲大體の方針 を樹立し、獨逸建築技師デ、ラランデ氏を顧問とし岩井、國枝兩技師專ら調査設計の任に膺り、國枝技師は之が取調の爲め同年六月歐米各國に出張を命ぜられた。越へて大正二年度には豫算額二萬圓を以て更に詳細なる調査を進めると共に、岩井技師を臺灣、靑島並に滿洲方面へ派遣して調査せしむる所あり、翌大正三年度に於ても亦同額の豫算をもつて調査に從事し暖房設備の設計に就いては更に九州帝國大學敎授岩岡博士に之を囑託した。然るにデ、ラランデ氏は同年八月日獨關係斷絕の前數日突然死去した爲め爾來元臺灣總督府營繕課長だつた野村工學博士を囑託として

▲設計の調査 に干與せしめ岩岡博士と土山技師を滿洲に出張させて暖房設備を調査せしめたのであつた。斯くて諸般の調査は滯りなく完了し、略設計は全く完成したので愈々大正四年度から新築に着手す可く豫算を要求したのであつたが議會解散の結果同年度は漸く一萬圓の經費を以て調査事務を保留し、本年度に至つて遂に目出度く豫算の成立を告げ、爾後八箇年に亙つて三百萬圓の工費を支出し大正十二年度中に竣成す可き事となつたのである。之れを要するに總督府廳舍の新營調査は朝鮮神社の造營調査と共に

▲大正元年度 以來經費を投ずること八萬圓、漸く今日あるに至つたものであつて、朝鮮神社の設計調査も亦既に完了を告げ今は唯だ其着手時期を待つのみである。本調査は兒玉會計局長時代に創始せられ土木局新設と共に土木局が繼承したものであつて廳舍の設計調査は國枝技師主として其任に膺り、神社の設計調査は岩井技師が專ら之れを擔任したのである。廳舍の建築に就ては目下土木局營繕課に關係職員一同が集まり宮內營繕課工營所に會合して諸般の重要事項を審議してゐるのである

○鮮鐵運輸狀況

六月中旬に於ける朝鮮鐵道運輸狀況左の如し

	本年分	前年對比
乘車人員	二一、七三四人	九八六人
小手荷物斤數	三四七、七九四斤	四一、九二四斤
貨物噸數	三五、八〇二噸	三、二四六噸
客車收入	九一、六七五圓	八、六九七圓
貨車收入	一〇二、八〇一圓	六、九七九圓
運輸收入	一九四、四七六圓	一五、二七一圓

○京畿道の種鷄配布

京畿道臨時恩賜金事業に對する種鷄の配布は本年七月より三箇月に亙り各府郡に對し二千百三十六羽を配付することに決定したり

○櫻井校敷地擴張

公立櫻井小學校は數年前買收したる敷地の上に漸次增築を行ひたる結果兒童の運動作業に支障を來すに至りたるを以て當然敷地擴張の必要に迫られ目下學校組合にて詮議中なれば近く開會の組合會議に提出すべしと

□元帥祝句

本紙號外により寺內大將に元帥の稱號を賜はりたりとの報傳はるや野田大塊翁は伊人江口虎耳氏と同道早速官邸に至り大將に祝句を呈して曰く

○寺內大將の元帥を祝す　大塊
○飛龍雲に仰ぐ朝や五月晴れ　虎耳
龍天に登る景色の旭かな

○水産博受賞

頃日東京に於て開會されたる東京海事水産博覽會に於て仁川小川梅藏氏は魚肚の出品に對し此程銅牌の賞狀を送附し來れりと

○高陽農事獎勵會

高陽郡農事獎勵會總會は二十四日午後一時より郡廳に於て開會來會者百數十名あり盛會なりしと

人事消息

▲中井錦太郞氏（滿洲製粉重役）　廿四日夜入京浦尾へ
▲三島八喜藏氏（フレザー商會員）　入京中の處二十四日夜退京
▲長嶋登氏（前代議士）　同上
▲飯島純介氏（工學士）　同上

□南言北語

獨逸では昨年大抵の物が缺乏して居て銅なぞは既に本年二月で盡きて居る計算だ▲處が未だ盡きないのは國內の銅器を悉く鑄潰し軍需に應じて居るに違ひない▲若さうとすれば今後約六箇年間の需用を滿たす事が出來る相な▲之ぞや鳥渡參らぬのも有理だ參らすのには人間の需用を杜絕せしめるに限る▲英國は北海を封鎖して大分獨逸を困めて居るが▲又々今度諸威の魚類を一手に買占めて獨逸へは一尾も入れぬ事にした▲獨逸の肉類缺乏は實に慘憺たるもので一週間一人宛約一斤と云ふ有樣だ而して其の不足分は諸威から來る魚類で補充して居たが▲今度英國へ押へられたから獨逸は最う肉類の缺乏を補ふ道がない▲痩我慢な獨逸の事だから茶ツ葉許り喰つて居るかも知れぬ▲最近獨逸を旅行した人の書いたものを見ると獨逸は事實に於て食料に大缺乏を告げて居る▲中等階級のものは財產を賣拂つて美味を食つて居るが▲下層階級のものは最う貯金も引き出して仕舞つて居る▲物價は非常に騰貴し所定の收入や賃金位では所詮追付かず其家財家具を賣り飛ばして兎も角も其日〳〵の生活は何處を見ても哀れなものだ相な▲殊に憐れを留めるのは出征兵士の家族で彼等は最う質草の種も盡き金に換へる家財もなく何にも殘つて居ない▲其處で家を守る兵士の妻等は涙を呑んで暮夜市中に出沒して慘狀目も當てられぬとの事▲獨逸から頻りに媾和の聲が聞こえて來るのは强ち嘘のやうな話でもあるまい

觀百穗畵伯金剛山寫生畵
成田滄石初稿

天下絕勝金剛山。媧石當年神斧刪。鎭作萬二千峰秀。不與人間俗眼頑。東都巨匠平百穗。梯航萬里濟宿志。露宿草行二旬餘。峽中爲客護食氣。歸來縱橫起雲煙。千年始闢山中秘。峻峰怪巖隨筆跳。飛瀑澄潭信手試。斧劈折帶資其皴。淺淵激湍觀厥致。一瞥先驗集仙峰。又看鬼設毘盧寺。王流溪又海金剛。誰言不動山靈意。素練高挂萬仞巖。九龍恰自九天至。奇絕峻絕萬物相。苦他形容無文字。百穗緣何繪斯奇。始知通神手絕類。吁穗莽有子不忝父名。無聲之詩鏘有聲。紅塵十丈夏六月。靈氣滿堂徹骨淸。只恨百穗攀躋日。盍爲笑奴隨回通。畵家祇合伴詞人。吾儕亦有煙霞疾。

講師　內藤鳴雪　高濱虛子　大須賀乙字　中野三允　佐藤紅綠　小波　佐々博士　笹川臨風　角田竹冷　荻原蘿月　外拾數名
最新 俳諧講義錄
新學期開講 規則書進呈
□文字無きは恥也文字在つて俳句を解せざるは更に恥辱也
文學の精華にて本講義錄は其の蘊奧を闡明し何人も直に理解上達す
入會の絕好機　最大特典提供
東京小石川東靑柳町　電話番町三六九六番　大日本俳諧講習會

新築移轉御披露
今般業務擴張の爲め本町二丁目京城電氣會社前へ移轉仕候間倍舊の御引立奉願上候
京城本町二丁目（京城電氣會社前）電話九九四番
骨董商　伊藤寶古堂

家庭雜誌　七月號
衛生小說 花嫁時代　金子醫學士
□勝手口から見た河野農相の暮し向　本誌記者
▲家庭と迷信　岸邊福雄
▲來客を好まぬ我が國の主婦　津田京子
▲職掛で送る私の生涯
□家庭の國粹を保存せよ　添田博士
▲子供の食事の研究　西山
▲私の企てた衣服改良の成績　入澤常子
▲夏季の衛生と家庭　橫手博士
□子供の間食（各家庭實驗の結果）
男女再婚の可否
▲謬まつた結婚の罪の償ひ　手塚かね子
▲再婚の可否は其人に依る　佐治實然
▲境遇により一概に言へぬ　安藤博士夫人
▲理窟だけでは通らぬ問題　鈴木券太郞
□會白生活（各階級の家計研究）二　佐藤梅園
▲手紙の認め方の禮儀
▲室內の裝飾と主婦の心懸　津田夫人
▲有地を傷めぬ縫ひ方　井上敎授
▲東本願寺裏方の平生　婦人記者
▲婦人職業手引草（吳服店員）
▲夏の毒で病氣が癒る（我家の實驗）
▲夏のお化粧法……婦人の身嗜
□浮世騷動お秋の方
家庭小說 黃菊白菊　後藤宙外
東京本町　博文館

日韓書房　新版報告
內藤鳴雪著　俳句のちかみち　定價八十錢 送料十錢
物集梧史著　深秘 德川大奧　定價六十五錢 送料十錢
後藤朝太郎著　文字の起源　定價三十錢 送料六錢
諸井春畦著　能筆自在 書法三角論　定價一圓二十錢 送料十四錢
加藤咄堂著　向上の意氣　定價八十五錢 送料十二錢
京城本町二丁目

新築落成　六月廿五日移轉
京城旭町一丁目（京城府廳裏通）
外科　花柳病　皮膚科
內科　耳鼻咽喉科
診察夜九時迄
島崎病院　電話二七三六番
院長正六位勳四等　島崎龍一
手術室新設　隔離病室普通病室設備　入院隨意

齒科診療
仁川山手町（穴門通）
東京齒科醫學士　飯塚喜四郞　電話三五〇番

[illegible]郡不明の牛疫發生し爾來上古面に二十三頭西面に十三頭續發し益[illegible]では今猶嚴重に警戒中なる[illegible]

◉平南水稻作況 [illegible]は晴雨[illegible]植付し即ち五月中降雨も亦晴雨其度に適して一層生育を良好ならしめたり而して全道に渉り稍[illegible]日數十二日に及び其量亦月合計八六[illegible]

◉巍然たる五層樓

廿五日地鎮祭を行ふ　新營の總督府

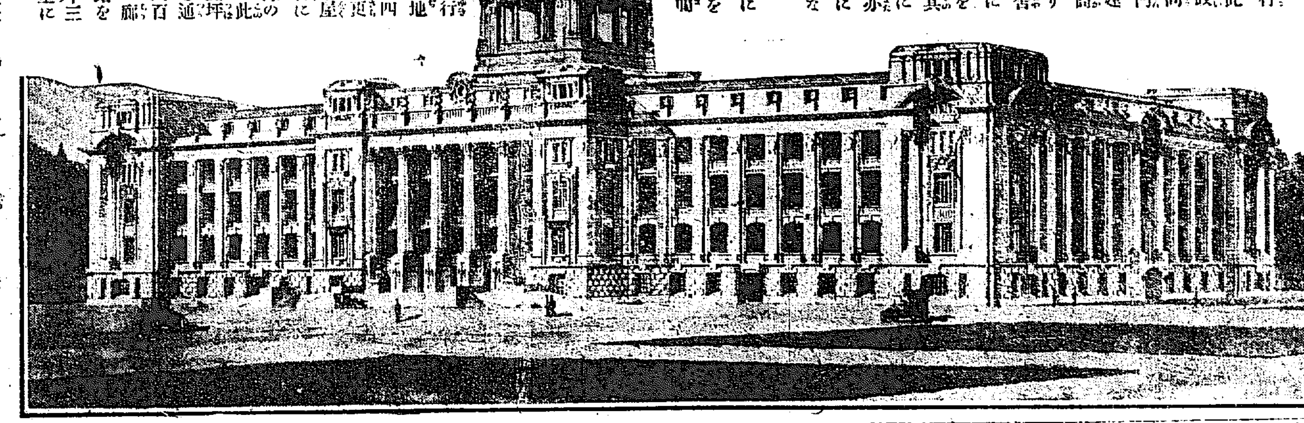
＝總工費三百萬圓＝高さ百十尺の大塔屋＝建坪總數二千百十五坪＝大廣間と御眞影奉安所＝七個所の通路＝十數個の昇降機＝蒸氣暖房の裝置＝防火設備＝

總工費三百萬圓の豫算を以て今年から工事に着手し、大正十二年度中に完成する筈の朝鮮總督府新廳舍は既記の通り愈々二十五日午前九時を期して其の

▽地鎮祭 を執行することゝなつた、此の廳舍は景福宮內勤政門の前面に位置し、同門から十七間、光化門から四十六間の間に建てられる筈で地盤の高さは光化門の敷石よりも高いこと五尺、廳舍の兩側や前面の空地には何れも立派な庭苑を配し後方の古宮殿、其他博物館から慶會樓に至る附近一帶の地も亦附屬區域として適當に整理せらるゝこととなつてゐる。却說此

▽新廳舍 は圖に示す如く屋階と地階を合せ五層の大建物で間口七十一間八分、奧行三十九間、其高さは地盤から軒蛇腹迄六十四尺、前面の中央には更に高さ百十尺の大塔屋が建つて內部の左右に各三百三十八坪餘の中庭が設けられる、此建坪總數二千百十五坪と註せられ、各階を通じた實用面積七千八百二十七坪二合の內、廊下、階段其他の通路を除いた五千三百四十三坪餘を一百八十一室に區劃する

▽建物は 鐵筋混凝土造りで柱間の壁には煉瓦を積み、又た屋階を除いた外部の個處や中道の腰廻り等は表面に花崗石を用ひ、其他は人造石で塗り固められる筈である、床や屋根の構造、其の他の細かい事は省略して、更に建物の內容をいふと正面の大玄關には馬車廻を設け、其階



▽三層は 大廣間を中心として兩側に事務室、會議室、應接室、圖書閱覽室、特別食堂などを配し、大會議室の一部には御眞影奉安所が設へられる、其れから地階即ち最下層の方は宿直、傭人、商人溜、電話交換の各室をはじめ各種の作業や雜役普通食室、炊事場、物置、車庫、其の他の豫備室に充て、又た屋階即ち最上層は專ら記錄類の格納庫や寫眞の作業場などに充用することゝなつて居る。此の尨たる大建築物の

▽出入口 は正面大玄關の外、其の左右と、東西兩側から中庭に通ふ路と、背面の二通路と合計七つの通路があつて、各階の往來には七つの階段以外、更に十二個の普通昇降機と荷物昇降機が取り付けられる。又た事務室は何れも四間幅で豫備室を除く外は一人平均一坪半の面積を占領する事が出來、各室の間仕切りは大抵將來室を分合せんとする場合適宜に其の必要に應じ得る樣な

▽構造に なつてゐる、序に天井の高さをいふと事務室は十五尺、玄關は二十四尺三寸、大會議室は三十六尺、大廣間は七十尺で、地階十二尺四寸、屋階十尺二寸となつてゐる、而して採光は各階ともベランダー付だから窓が大きく、中央の大廣間、階段室、塔の下抔は何れも頂上から光線を採つてゐる、其れから諸般の設備を略言すると屋階と地階の外は各階共に

▽東西南 三面にベランダーを設けて日光の直射を避け、冬は蒸汽暖房を裝置する、建物の全部は素より絕對耐火の構造であるが尙ほ非常の場合を慮つて各階を通じて四十箇所に水道消火栓を設け、各昇降機、電燈、電話、呼鈴、電氣時計、書類其他運搬用の小リフト等に使用する電氣は總て自營とし電燈數八百個と註せられる、幷して給水には五十個の給水栓を取り付け主として

▽水道水 を使用することゝなつてゐるが暖房や發電用の汽罐に使ふ水は構內に井戸か貯水池かを掘つて給水する計畫だといふ。其れから附屬舍としては西手の後方に發電と暖房に使ふ機關室、鐵筋混凝土造の平家一棟を建てる筈だが、此他の附

□朝鮮の養蠶

▣農民の副業には理想的

春蠶收繭期の農家は大抵前年穫入れた米を喰ひ盡しその上貯財も無くなつて一年中最も經濟の枯渇した時であるこれは內地の農家も同じ事であるが殊に此の時期の朝鮮農民の

▽困窮 は甚だしいものであつて喰べられさうな草なら何んでも構はず根まで掘つて食べて終ふし青い麥をも喰べれば松の木の內皮なぞまで剝いで食べそれでも足らずに家や地所を抵當に

▽高利 の金を借り込んで一生涙々として暮すと云ふ向きが甚だ多い農民を斯んな窮境から救ひ出すには目下の處養蠶を奬勵するより外に方法はない現今の狀態に在つても大抵溫突一間でも十二三圓乃至二十圓の

▽收穫 を見る事は容易である三十圓あれば一人の大人が一箇年生活して行けると云ふ朝鮮人に取つては二十圓と云ふ金は容易ならぬ

▽大金 である、殊に一年中の財政逼迫の時期に之れ丈けの金が這入つて來れば彼等は金融組合に擔保に入れて置いた籾や大豆を引き出してこれから麥や粟が穫入れられるまで

▽優に 食ひ繼いで行けると云ふわけになる、併しながらいかに養蠶が農民に取つて理想的の副業であつてもそれが土地及び地方農民の生活狀態に適合して居らなければ之れを奬勵するとも其の

▽前途 は甚だ覺束ないものであるが朝鮮が極めて養蠶に適して居る事は第一氣候が概して乾燥して居る爲め蠶兒が健全に發育する第二には地質が到る所

▽桑の 栽培に適當である事第三には朝鮮現在の農民は米作に從事する外は少しばかりの蓄産に從事して居る位のものであるから副業として蠶を飼養する

▽餘地 がまだ充分にある第四には養蠶は社會の上下を通じまた土地の東西を問はず普及する事が能きるから副業として最も都合のよいものである

▽斯樣 な見地からしても朝鮮の養蠶は將來大いに發達すべき運命を有つて居る

◉臺灣から朝鮮 を荒した二人組の賊

愛知縣額田郡岡崎町字龍田五十一番地深谷菊三郎(三〇)及び神戸市兵庫狩阪通り三丁目一番地島田元次(三〇)の兩名は何れも臺灣にて入獄し出獄後一時臺北出獄人保護會一心社に收容され居たるが本年三月初旬無斷逃走し四月打狗金光教會の賽錢箱より金八圓を竊取したるを手始めに各所にて七回に合計六十三圓の金品を竊取し其後來鮮本年五月十六日午後一時頃釜山府田町石田義雄方外五箇所にて三百二十八圓三十錢相當價格のものを盜み出し五月三十日仁川に來り寺町池江英一方に忍び入り羽二重製紋付男羽織外五點價格八十八圓を竊取したるを石川中島兩刑事に探知され仁川署より文應檢事局に送られ審理中の處此程同廳にて島田元次は懲役二年に深谷菊三郎同一年に處せられたり

□賑ふ總督官邸

二十四日の午後二十分寺內總督が元帥府に列せられ特に元帥の稱號を賜うたこの榮電に接すると共に車を飛ばして總督官邸前に驅け付ける者は賀の挨拶を述べる兩日も正しく塵も留めぬ清々しさ玄關內の氣配いと靜に、十分又た十分時針の進むに連れて內外の光景漸次一變し、續て自動車が來る、馬車が驅ける、玄關の扉が一文字に開かれた頃には祝賀の客愈々繁く、門前より玄關先きは車馬の來往織るが如く、制服の人、羽織の客、往き交ふ語、帽を脫つてヤア御目出度い事で、と喜び合ふ、此光景は三時を過ぎ四時を報じても依然として持續されてゐた。

◉腹を蹴て殺す

慶北慶州江東面良洞李錫海方雇人金順哲(二〇)は朋友なる同里の申福伊(二六)が舊五月節句當日李萬奉なる者と相撲をなし福伊が萬奉より打負けたる上着物迄破られて酷い目に逢ふたることを聽き其の仇打ちをなし遣るべしとて李萬奉の腹を蹴りたる爲め萬奉は數日の後死亡したるを此程其筋にて探知し金順哲を檢擧したり

◉煙草一本の命

高陽郡纛島面雌馬持里勞働者李容植(二一)は六月十五日午後五時頃同里孫哉鎬方前にて居合せたる同里の崔相云(三二)に煙草一本を與へよと云ひたるに拒絕されたるより喧嘩となり容植は穿きゐたる下駄を以て相云の左顳部を强打し同人は昏倒して人事不省に陥りたるを家族等が介抱せしも翌朝遂に死亡するに至りたれば容植は高陽署にて取調べの上檢事局へ送られたり

◉强盜は親子連れ

全北鎭南郡富貴面黃金里金仁錫(五二)は長男金鐘次(二四)次男金判用(一七)と共謀し六月七日夜各覆面して棍棒を携へ同里白學水方に侵入し學水不在中妻の尹姓女を荒繩にて縛り上げて同隣家の金永化方に拉し行き置きて立ち戻り白米大豆、煙管、眼鏡等價格一圓の物品を强奪し同月九日夜には前記金永化方を襲ひ同樣强盜を働きたる爲め何れも其筋に檢擧されたり

巡業日記　（鎭西山補藏）

□罰の胴上

水が惡いので腹下し　勸進元は青くなる？

朝つぱらから皆腹下り水が惡いと見ゐて釜山以來下痢をする者多いのと

▼角力 が無いので皆大弱りの體だ二十一日からの雨は忌々しい程よく降りつゞいてしかも今日は土砂降りに烈しく降つてゐる。恁んなに續け樣に雨に降られては勸進元も青くなるだらう何しろ一日の

▼宿料 が百圓以上もかゝる。その上にいれを見渡しても大食漢であるから堪らないだらうと思ふと同情せずには居られない。退屈だものだから九州山關は終日岩戸山に

▼小說 を讀ませながら樂しさうにそれを聞いて遊んでゐる。大錦關は別に外出もせず一人一室に閉ぢ籠つたきり默々としてゐる。宇都宮關四海關等は皆枕を抱きたり食たり將棋をやつてゐる。外は寢たり

▼雜談 に花を咲かせたり一同何れもブラ〱してゐる。面白かつたのは友の浦が歸つて來て昨宵何處とやらでもてたとウッカリ惚氣を言つたのでソラこそとばかり一丁皆が大勢集まつて胴上げをやる此の胴上げをやるのは私等の規則の樣になつてゐて誰れでも

▼惚氣 なんかうつかり云ふと皆で大騷ぎしてやれ〱とばかり擔ぎ上げるのである。遣られる本人は少し位痛いだらうけれども豬喰つた酬ひで故障も言へず苦笑でもしてゐる外はないのだ(二十二日)

◉女學校を襲ふ

去る十九日午後十二時より翌二十日午前四時頃迄の間に平壤公立高等女學校裁縫教室裏手の硝子窓を破りて侵入し敎員外套一、裁縫品二、石鹼三箇、下駄一足、本三冊外數點を竊取して逃走したる曲者ありしを翌早朝當夜の宿直當番が發見し早速其旨警察に屆出で嚴重犯人の探査中なりと

◉僞辯護士

京城瑞麟洞權永熙(三〇)は昨年舊十月中元山に赴き辯護士なりと詐稱し同地榮町韓致長及び外一名の婦人より何にもなき訴訟事務の取扱ひを請負ひ兩名より三十餘圓を詐取したるため咸興地方法院に於て懲役十箇月の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴したるも棄却となりたり

◉阿片と人參

平北宣川邑內川北洞居住生金近河(二五)は同里李坪頃映奎の依賴を受け去る十一日午前七時半頃映奎の息子李鍾賢(七箇月)が下痢すると聞き診斷をもなさず阿片に人參を混入したるものを與へたるより之を服用せしめたるに分量が多過ぎたる爲め同夜遂に死亡したるより近河は其筋の手に逮捕されたり

◉劇藥自殺

二十三日午後四時頃京城太平町二丁目朴應七妻金姓女(五〇)は家人の不在中劇藥を服用して自殺を企て苦悶中を發見され應急加療の爲め生命に別條なし原因家庭の不和なりと

◉國柱會の講演 初音町國柱會にては二十六日午後八時より本町二丁目平戸支店に於て日蓮主義の講演會を開催する由なるが演題は『國體は國が亡ぼす』金澤銀作氏『光づ研究せよ』櫻井要特氏『唯有一乘法』伊東講師なりと

◉曹洞宗別院の蘭風會 曹洞宗別院(若草町)にては既報の如く二十五日午前九時より蘭風會開會の筈

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▽物は付『有難迷惑するものは』

◎褒めて呉れた大西瓜（一等）　大邱幸町　三木敬三

△吝な主人の花見の御供　龍山　小畑彭平
△乞食ひなして大杯　京城　長野時枝
△勞れた觀光に長々の御說明　平壤　南山子
△稀々の持參酒　龍谷浦　釘本翹角
△肺病の人からもらつた盃　金城　八卷大仙
△澤山撒いた道路の撒水　京城　露雨
△下痢の時すゝめられし氷　龍山　民ノ枝
△長い尻の追從話　京城　重富なつ
△多情の亭主を僻詠　京城　砂崎玉山
△都會の田舍の手傳　仁川　山本晴海

一日新聞募集

	締切	發表
謎『紙著とかけて』	廿三日	廿六日
狂句『角力』	同廿四日	同廿七日
俗謠『涼み』	同廿五日	同廿八日
川柳『カフェー』	同廿六日	同廿九日
次回物は付『送りたいものは』	同廿七日	同三十日
	同廿八日	同一日
	同廿九日	同二日

百穗畵會

平福百穗畵伯金剛山寫生畵及び其他風俗花鳥畵十數種並東京諸名家の丹青百餘種

廿五日午前九時ヨリ午後五時迄

京城ホテルに於て　主催　京城日報社　毎日申報社

◉巡査小兒を救ふ 全北高敞警察署後浦巡查駐在所勤務金巡査補は去る[illegible]日[illegible]落ち里生れ漁夫張文旭(三四)と協力し判玉を救ひ揚げ應急手當を施し蘇生せり

[illegible]日大阪市北區朝日町堀內[illegible]古物商の陳列臺より[illegible]に居合はせた[illegible]

京畿道長湍郡江上面馬城里金周鳳より入合御入金を徵收しむるを手初め[illegible]

朝鮮總督府
一割栗石四百九拾九立坪
右購買ス詳細ハ六月廿四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

購買公告
一水道用鑄鐵管其他
右購買ス詳細ハ當部門前掲示ニアリ
大正五年六月廿五日　朝鮮駐箚軍經理部

購買入札公告
一擬似陸線
右詳細ハ昨廿四日ノ朝鮮總督府官報ニ在リ
大正五年六月廿五日　朝鮮總督府遞信局

急告
近頃各地へ弊店出張員と稱し注文を受くるもの有るやに聞及候處當店には一切出張致させしことなく無關係に付御取上げなき樣願上候爲念廣告仕候
京城　三越呉服店

新刊書御案内（書名　著者　定價）
大尉の娘　プーシュキン作　八〇
お七吉三　田村俊子　四〇
半生の懺悔　宗像鶴山　七〇
舞ごろも　與謝野晶子　一〇〇
女優ナナ　永井荷風　一〇〇
戎縫おもちや集　藤緖子高田久子　一一〇
碁道　三段林木繁三郎　八五
新選俳句大觀　上中下三冊共著　八〇
實用西洋料理法　赤堀菊子　二六
海岡園竹譜　上下　一〇〇
支那研究　教育學術界　一〇〇
滿蒙と山東　小川運平　一二〇
獨逸戰前の眞相　ベーエンス　八五
お話の研究　水田光　一五〇
元素の醫學健腦術　金杉博士　七〇
最新健强法傳書　西川光次郎　一〇〇
最新庭球術　和田實　四〇
英文日誌　淺田先生　五〇
來るべき時代の爲に　エレン・ケイ　一二〇
向上の意氣　加藤咄堂　八五
新朝鮮　朝鮮研究會　一〇〇
實用計算法秘傳　佐々木政吉　五〇
受驗必讀法律講義　阪上嘉吉　特七五
大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三

各眼病院指定眼鏡調製
眼鏡　專門
金銀銅各種製作（定價表を發行す二錢送）
京城黃金町二丁目　大學堂眼鏡舖　振替一一二九番

[illegible]　京城壽座前　電話二七一二　振替口座京城二三六七番　値段技術勉强地方は送料頂きません

京日案內
普通（一回前金三十錢匿名一回每に金十錢增）
番外（一回前金六十錢匿名一回每に金二十錢增）
▼申込み後掲載中止の節は料金返戻せず

普通
◉十七八歳自轉車經驗有習見外交員入用　京城南大門通　ミノヤ自轉車店　882
▼最新流行、粋な、はやり歌色々あります　本町二〇電二五二七〇　ウツボヤ書店　820
◉貸金月收の御方へ信用秘密融通御一報同上候　不老湯前横丁下る　京城大和町三　起木屋　877
◉古本高價買入弊堂の勉強是非御試賣を乞御報即刻參上　▲京城本町四　電話二七八一番　群盛堂　348
◉見習看護婦二名至急入用　履歷書携帶來談あれ　希望者　855
◉新刊雜誌の貸文庫　◉御申込報早速持參　京城本町一　電一三七八　松井松寿堂　869
▲菓子職見習入用年齡十五六歳位の者本人來談あれ　京城黃金町二　商品陳列館通　東京堂　852

番外
村松夢州 右本社に關係無之此段謹告候　本社員と稱し地方徘徊致し候際は御注意被下度　朝鮮及滿洲發行　朝鮮雜誌社　880
◉讓店　京城本町　最目拔場所　有利確實商業　希望者は電話二〇二五番　881
▲電話讓受 たし御通知を乞ふ　電二五二七べ　878
▲京城本町二丁目朝鮮製氷社京城販賣部　住辰氷室　京城銀行前
◉鑛山測量開業　土木水利測量設計製圖調查　忠州竹內鑛務所　868
△農產種子卸問屋　卸賣定價表申込次第郵送す　東京千住在保木間　種甚商店　850
◎害虫驅除　除蟲菊粉發賣　京城南大門外　朝鮮勸農株式會社販賣部　873
◉◉觀相　京城舊醫町日ノ丸旅館　石龍子高弟　隈本修平　816
◉はねつぎ うちみ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　334
本店新製　クリームキャラメル　大十錢　小五錢　パン元祖　木村屋支店　京城明治町　電話二八七◎　360
好職　利益多大美術ゴム事業老幼男女誰でも出來本業又は副業に適す志望者は來店又は郵券十錢送れ案內書及製品見本急送す　京城太平通二大漢門前　太陽ゴム商會　384
營業資本便利貸付　御用の方は午前中に來談あれ　櫻井町一丁目　電話三四六番　杉本質店　832
恩給年金低利秘密確守即時御立替　其他日獨郵金通帳貸　京城永樂町一丁目商品陳列館表門前　江州屋本店　845
勸業債券高價買入　並に月賦(無税)債券　京城太平通二丁目(電話一八三二)　商業銀行朝鮮債券部　864
廣橋自働車　南大門通一丁目　京城泰川間每日午前入時出發　電話二一九番　主務　金平渕　322

渡邊默禪

「三五」 時計がない

「僕は賊の入つたとは知りませんでした。いきなり足を踏まれたんで喫驚して目が覺めました途端に、痛い誰だッと怒鳴る源作の聲がしました生駒さんでも起きたのかと思つてゐますと、源作は泥坊と叫んでからにむつくり飛起きたやうでした。そしてどたばた取組合を始めましたから灯々と喚鳴つて手を拍きました。そのうちに賊は源作に投げられたと見えまして、雨戸を一枚打倒して、もろに廂の上へ顛がつたやうでした。それから廂を飛下りて表の方へ逃げたやうな鹽梅でしたから、源作も待て待てと喝聲したがる、續いて廂を飛下りて疾風の勢ひで追懸けて行つたんですが、うまく捉まりましたかしら」

大野は慫う答へた。子爵は頷いて

「左樣か、すると源作は彼時から次に退つて、酒を飲んだなりに酩倒れて了つたものと見ゑるな」

「爾うです、ちやうど一時少し前まで德利と首ッ引をしてゐました」

「先刻の銃聲は何ぢやらう。私の拳銃が無くなつてゐるが、或ひは賊が盜み出して威嚇をやり居つたんぢやないかのう。源作はどうしたか、早く誰か見せに遣らんか」

「いや、それならば先刻宿の者を差向けました、最う程なく戻つて參る頃でございます」側から生駒が言つた「如何ですか、一つ御荷物をお檢めになりましては」

「あゝ爾うだつたな」娘の看護にのみ氣を奪られてゐた子爵は、ふと憶ひ出したやうに立揚つた。

「お嬢さま、貴嬢はそのまゝ御寢になつてゐらしつた方がよいです。今醫者を呼びに遣しましたが、生憎此の村には醫者がございませんので、先の町の天道とかいふ所まで迎ひに行くんださうです。いや田舍といふものは不便でございますな」生駒は慫う言つて、鳩子の枕を直してやつたり夜著をかけてやつたり、いかにも機轉らしく立廻つた。

「いゝ、醫者なんかいゝのよ。最う大丈夫よ」鳩子は急に元氣づいて來た。けれども體の調子に何處か違和ないところが殘つてゐると見えて、まだ寢床から離れることが能きなかつた。

子爵は床の間に置いてあつた旅行鞄や、獵具の裝彈カバンや、鳩子の手提や、そんな物を次々に檢めて見たが、別に紛失した物とてはなかつた。

「何にも無くなつては居りやせんが……すると彼の拳銃だけかな」

「ね、盜られた物は御坐いませんか」生駒は意外らしい顔をして「金なんかは如何ですか」

「金?爾うぢやのう。鳩さん、お前何處に秘つといたか、ちよつと檢めて見てくれい」

「はい、大野さん、ちよつと其處のお火鉢を上げて見て下さい」

「火鉢を……は、承知しました」

大野は不審しつゝ、手近にあつた黄銅の獅嘴火鉢を取りのけると、その底に二つ折の黒柔革の財嚢を平べつたくして敷いてあつた。鳩子はそれを把つて披いて見て

「異狀がございません、昨日お預りしました百圓紙幣が十五枚、ちやんとして居ります」

「はゝアそんな所に伏せといたんかそれぢやあ賊もちよつと氣がつくまい。ハッハッハッ好い金庫がめつかつたのう」

子爵はその手輕な機智に對して感謝しない譯にはいかなかつた。生駒は呆れて見てゐた。

と、階下に人聲がして、どかどかと上つて來た群がある。先に入つたのが宿の主人で後に駐在所の巡査と源作の影が映した。三人がまだ座敷に入り切らぬうちに、子爵は甑いた聲で叫んだ。

「おいッ、時計がないぞッ!」

龍山榮町(製氷社前)電話三二八番
うなぎ 喰道樂 松華
皆さん是非一度松華に御越し下さい

▲生活の力(四六) 一錢東京市京橋區木挽町六の一〇其社

▲通俗電氣世界(一五) 五錢東京市麹町區有樂町一其社

▲圖書通信社月報(三の六) 非賣品東京市芝區櫻川町七其社

▲講談落語界(七月號) 某匪の口繪『陽あがり』は依例髭圖に春帆の柳樹は俳味たつぷりなり、怪談玉菊燈籠(琴窓)八十萬圓金剛石の争(痴遊)居殘り佐平次(小燕枝)等の外に活動寫眞十二卷のカビリヤあり、雜錄あり興味に持つて來いの讀物多し(二十二錢東京市神田區淡路町其社)

▲日本印刷界(八〇) 廣告は商略の大部分なり而て其製版は一に製版、圖案、印刷の巧拙如何に係る、本號の如き實に善く此の間の機略に投じたるもの、毎頁總て之れ商家必讀の好文字(二十七錢大阪市東區南本町二其社)

▲新家庭(一の五) オフセット版銀河は蕪園氏の清麗なる彩筆にして寫眞版は依例上流家庭の夫人令嬢數十を收めたり記事には碧瑠璃園の光秀の妻は益々佳境に入り短篇小説三の切、探偵實話栗子の母の結末も亦面白し、婦人の衞生と攝生相馬博士さ口爛を防ぐにはどうするか高橋博士さ夏期に於ける婦人必讀の文字にして私の處へ訴へて來た少女の煩悶女學生は如何なる結婚を希望するかは興味ある研究問題なり、其他百圓懸賞新題二種を發表せり(三十錢東京市芝公園地九玄文社)

▲正則中學講義錄(一の六) 中學課程十三課目の講義に加ふるに自習問題あり科外講話補物の利用あり(會費月五十錢東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會)

▲學生(七月號) グラビヤには最近發明の出來事の寫眞あり記事には高等學校入學前へ(片山寛)野球變遷一高の取組(横井春野)學生英字ガ問(最上梅雄)能勢の大碌(平非晩村)室内運動法(武谷雄)外國語の可笑しな發音(遠藤博士)人一人を殺す費用(大河内博士)其他を收む(二十錢東京市神田區富山房)

◎流行界消息(化粧品はクラブ全盛の世の中)最近市内の重なる商店に就て聞くに近來例の生地まで白くなるといふクラブ白粉を始めクラブ各種化粧品の品質ますます良くなれると他の化粧品が滔々として市上の渦中に卷込まれたるに反しクラブのみは依然不價な値打せるさにより一般婦人界に於ける其の人氣は素晴らしきものにて白粉は勿論歯磨でも洗粉でも香油でも殆んどクラブばかりが賣れて居るといふ勢ひなるが僞ほ本年は中元の贈答品としてもクラブ化粧品進物箱の賣行頗る有望ならんとの豫想の由何にしても盛な事といふべし

洗劍亭吟行(上)

獨立門に至る途中十句

春霜や紫色ひらく吹革の火 容堂
花束を買ひ居り春季皇靈祭 同
春風や餌に遲れ行く跛足雛 同
通さとる獨立門や雀の子 同
鮮語知らに乘る擔軍や春寒し 竹水
陸子細目に鮮葬見居る東風寒し 同
學堂に給や小女や窓麗なる 青丘
負はれたる龍の鷄鳴く長閑さよ 山民
春風や弗入と我見らる 北星

白佛殿に至る途中二十三句

觀音橋(一句)
半ば霞む城壁見ゆる橋に立てり 容堂
因人の墓地見る道や春の風 同
春風や皆の眼そゝぐ境界標 同
谷川の中に巨岩や杉の花 同
山陰の苔の古木や囀れる 同
墓草に白き胡椒や地虫出づ 同
陽炎へる草に俄かの颪かな 同
一族の墓を圍みて桃林 同
甍餉せし墓山見向く村麗ら 同
長閑さや穴掘る人の見ゐずなり 山民
餘練るや寳子待ち居る暖かに 同
東風の知人夫叱りて甕婦かな 同
春風や墳墓廢して拓く畑 同
春風や立木柱に納屋建つる 同
徑盡きて沙原歩く暖かに 北星
春風や條目通れる岩の縞 同
芝擾は埃の行衛うらゝけき 同
門の跡の無用柱やうらゝけき 同
陽炎や煙燒けして古りし家 竹水
死刑囚の墓掃く囚人春寒し 同
東風の門鎚と出づる濯ぎ人 同
沙地來し足の疲や雲雀鳴く 青丘
鶺集ふ土橋の下や水温む 同

新刊紹介

▲銃獵界(一二の六) 十二錢 横濱市本町二の三金丸銃砲店

讀者の領分

山手の方の朝鮮人街の道路は以前は賦役で手入をして居たから好かつたが此頃は打ちやりつぱなしだから雨が降ると道路は谷川の樣になり天氣になれば地肉落ち山骨現はる何とか工夫はありませぬか(ポプ夫生)▲小生は貴社主催の百穂畫伯の京城ホテルの展覽會を見ましたが實に立派なものゝ許りで目が覺める氣がした京城でも種々の畫會があるが彼れ程見事なものゝ揃つた展覽會は實際初めてであると思つた(南漢山主人)▲漢陽公園の夜分はまだ人出は少ないが家庭的の散歩場としては如何かと思ふ(憤慨生)▲小生の處は山手で近傍にドブもなければ蠅の出來相なものもないのに非常に居る何うしたものだらう容易に之れが退治法はあるまいか(南米倉町の住人)▲此頃京城では子供に痲疹と水痘とが大分流行してゐる死亡する程激しくはないが親々の注意が肝要だ(開業醫)▲京城は以前から蠅退治には頗る成功しつゝあるが此際蚊退治も併せて斷行したいものである(衞生家)▲此程黄州の僕の友人の子供が附近の尋常二三年生と共に黄州川に泳ぎに行つて三名溺死した京龍あたりでも漢江に游泳に行く少年が頗る多いが一般家庭の注意が大切だ(父兄總代)

市況

大阪株式市場

仁川米豆取引所

祝仁川支局發展
仁川本町一丁目
朝鮮銀行仁川支店
電話一一番。三一二番
振替貯金京城三四〇番

祝仁川支局發展
仁川本町二丁目
十八銀行仁川支店
電話四一八。九一八番
振替京城二六七六番

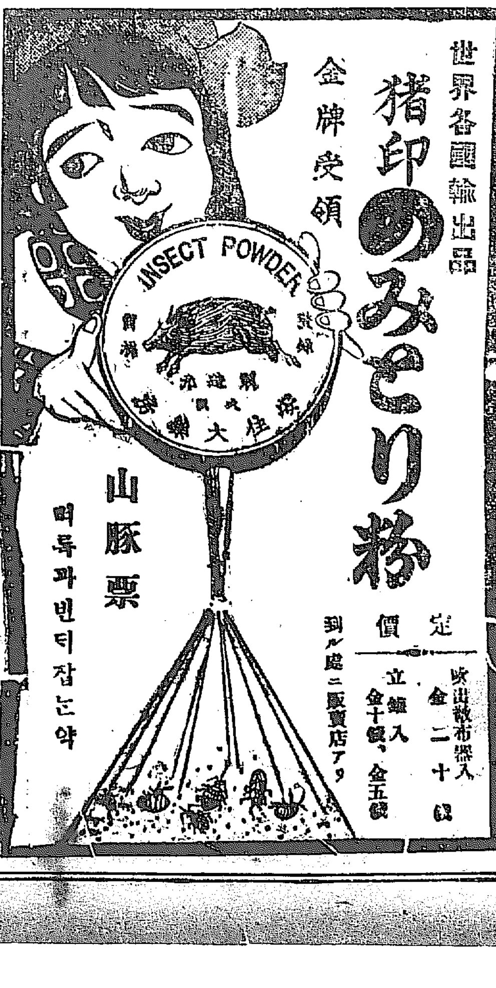
祝仁川支局發展
仁川本町二丁目
百三十銀行仁川支店
電話四五八。一〇一番
振替貯金京城五五番

祝仁川支局發展
仁川本町三丁目
朝鮮商業銀行仁川支店
電話八四九番
振替京城一〇六二番

祝仁川支局發展
仁川内里
濟物精米所
電話八二〇番
仁川萬石町
仁川製鹽所
電話三三九番

萬年毛筆 タイヨー

特價發賣以來其完全無缺なると活動家ノ携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を收めたれば聊か謝意を表する爲め跡五千本を限り特價六十四錢を以て發賣仕候條此の際引續き御用命ありたし
振替貯金口座京城三〇〇番
京城日報社代理部

世界各國輸出品
金牌受領
猪印のみどり粉


山豚票
며룩파빈디잡는약
定價 金二十錢
吹出散布器入
鑵入 金十錢、金五錢
到ル處ニ販賣店アリ

營業目録
鑵詰 乾物 海産物 雜穀 洗濯石鹼
漆器 家具 文具、紙 編、農具 レヨベル 金物
陶器 磁器 簾 屏風 芦莚 花莚
荒物 履物 澤庵、茶 昆布 鰹節 酒、石油
乳母車 雨傘 東京管筒 碁盤 蠅取紙
仁川新町 津田兄弟屋本店 電話七六二番 振替口座京城三八九番
仁川宮町 津田兄弟屋支店
京城本町 津田兄弟屋支店

殺菌力絶大なる
下痢止腸胃藥

梅雨
「の下痢病は黴菌性の者多し故に止瀉藥は醫學上殺菌力を有する藥劑ならざる可らず……柏村博士のヘルプは此點を考慮し調劑せし者にて從來の藥に無き消化殺菌、防腐の作用を完備す故に
下痢と腹痛にはヘルプが一番よい
腹具合の惡い時には先づ柏村博士劑製の「ヘルプ」を試みよ
下痢、腹痛は直ぐ治り、腸胃は健全に復す!
▲ヘルプ主効▼
▲痢病▲腸カタル▲胃カタル▲腹痛▲食傷▲吐瀉▲暑氣あたり▲水あたり▲腹下り▲消化不良其他一切腹具合の惡き時に用ひて妙
定價 金二十錢 金三十錢 金五十錢 金一圓
東京日本橋區本町
津村敬天堂